「東京電話」 郵便貯金利下げは前 | を生ずることとなったので十一日

前内閣決定率は變更に決定

大陸選信雨省間において協議の結

領されることとなる語である 課項金部特別を計より一般意識に

際延長案質施に要する経費五十二

第二 服所得税については現

要表し十二日の閣議に附議決定を見たついて協議を重ねた結果結城破相の財政政策に基き新税制整理暫定案大綱を左の如く決定便京電話予被資は十一日夜藏相官邸に省議を開き馬場龍藏相による税制整理案の修正に

自動から一般

(イ) 瞬間の開発学習上でると

稅

改正要綱

臨時增稅增徵要綱

分八を百分十に成むこと
法人百分十を百分十五に間人百組締利得税については現行税率

恒稅總額二億九千萬圓

税制整理暫定案決す 時增徵、 新稅 創設等

出版先づ主催者たる国政一新聞を

の三點を譲越に供し意見の開降あ

「ワルソー十日同盟」反革命『併行 本部」事他落置後イズヴェスチャ

蘇反革命擴大

| 14 | 日夜日恋を見て魔跡公飾に 命共資料合意産部主事・授産部物
| 対する総解殺を鑑支した、自治の | 品保管主任 | 久保半右衛門

| 荷歌資半限芸長法教の今藤寶選纂 | 勁のた結果 | 町見合せることになれて、一日末期に至り薬師飲か菩旋これ 【東京電話】文部省は義務教育年 | 既に河祖大旨を招致して之に對す 二日末明に至り薬脈似が軽減これる証酬策につき考売を遂げたが十

明年修正豫算に計上

【ロンドン十一月同盟】 英国政府

| 四日を以て終る五ケ年間に總| 印前山野長 日本の日本の一日を以て終る五ケ年間に總| 印前山野長

新洲世界長苔記 山下 敬风

總督招宴 海經首は十四日 「武一枚でも節門」

たことなぎにあって地で総が経て歴史をから課税取止め、貿易結計税の新設を中止し産税新設(法人だけに限る)第二種所得の綜

方面より論難されてゐた取引稅を削除し財特に馬場案と異る主要點は經濟界その他各れなかつた經濟和嚴が重認された繁か謝言されるであらられなかつた經濟和嚴が重認された繁か謝言されるであらられ 度能の指揮においては纏るところなく、瞬ろ患趨寒に於て手を觸

て大衆負擔となる 増税は利當。緩和されたもの十六百萬國藏、間接稅(關所を除く)に於って六千六百萬國藏、間接稅(關所を除く)に於て六千六百萬國藏、間接稅(關所を除く)に於て約。 大衆重響數 密盟縣縣のA艦となった、右修正の結果。於監察的聯合有監察的聯合有監察的聯合 って農村大衆に對する影響は却つて好結果少いかも知れないが間接税の増税緩和によ少いかも知れないが間接税の増税緩和によに對しては馬塲案に比し恩惠を與、ることなり、ま辞蠡灣鹽器との整門を懸されたちに農村 を齎されるであらうとされてゐる とにより地方財政調整交付でが と見られてゐる。たと地方院の懸理を一ヶ年延期した

七間に相応する金額を普通所得した別に相応する金額を普通所得についてこれに関連し流深所得についてこれに関連し流深所得についている。 いてはこの際 イス 第三種所得税については現 行税領の二割乃至七割(平均五 割程度)の増設を行ふこと 資本利子税については十割の増 四を自分四に引上報については現行

地方交付金七千萬 圓、開稅收入一千八百萬地方。 対する影響業の和く大概在機能を向べるたいでは多少の指収となる計算である。前して今頃の経正案は極めて増収となる計算である。前して今頃の経正案は極めて増収となる計算である。前して今頃の経正案は極めて増収となる計算である。前して今頃の経正案は極めて地域をあるだけに就職業は大の影響を認識する。 馬塲案に比して 人衆負擔は相當緩和

足的説明をなし各個語の東流を表

株局収に朝鮮土木雅築業協商を通 し方語資業者各鑑山町と連路をと り需要状況を調査し、目下全部資 遊を行つた上三月末頃から第一次 對しては本年は北鮮へ一萬人、 を掲げて集計に努めてゐるが来る

除り関鍵度を失ふでうなことは かりし文化の統士に雇口あれた

城首相の放送に『革新忠誠の のおで。もし日重慶、そなたに 「さアその儀は。……」

ながようないたし、和同様のおないが、のは、「一個に連れて来いとそのは、子供の相響で一個ない、できつたば、子供の相響で一個ない。」として来がおころはに既で達む、迎いとんのは、「一個に連れて来いとその と揺れ、語し紛れの雑を申したも 違しざられ。和尚も豫別せれおこ て参ったのに相 思はずそこも

大地文 MALESTOCH 1: (中部語 WALESTOCH 1: (中》 WALESTOCH は、結局のところ全般のことをらんとするの風のありますこと 至しうして国家社會に遊さんと 記れて部分に起はれ、 遊報と言 美つて響ら利害に眠り、 己を 一交嗟に出館目を追べて誤消化さら 『えッ、そんならおころ。 いたのちや。そのころが何んでこ で来たのを時に取つての助け州と やおころ優はあなた様と一緒にっ とに匿まはれてゐるのちでご

元で出

この風の仕様は 古りませない

と考べた他要ない和尚の見罪。 時質院に居りましたが、何故か利一減固を申せばお何はいかにも一 言語の行き掛りから扱き差し たが、何故か和

ます…しかもボンクーパーます…しかもボンクーパーはコロイドに関すり企って良く高価帳性の結消物質で、長く咽喉性の結消物質で、長く咽喉性の結消物質が、長く咽喉性の結消物質が、長く咽喉

固刻音

削声 □風卒銭(vi+zat)

| 編集州において豊意したる大豆|
| 4 | 鐵の輸入税免除に
| 個集州において豊意したる大豆| 輸入税免除に闘する 五十一號(關東

「これは御中老。―――久々にて御 「これは郷中老。―――久々にて御

邦枝

慰

13

保

世

繪

輸出統制稅法の制定 い顔で笑つてゐる日道を見ると、 派たおころを出された上に、 原し であららの側値を逆立て前後を話 院员

着きに疾帯いて丁服に染材へ頭を假かに形を正した森山は、思客

(1) 内地に居住するものが本地 すること (4) 大有情報があるりたる時は取代 まは外貨額特別税を駆けること 有情報がの影響ありたる時は取り十分とその他の外貨額につい 提当に関し取得價格の一萬分一利率年入分を配める利子相目常制 力主一萬分入の農率をもつて混り上分とその他の外貨額につい 起すること むすること

金)に置し年一千分一の最単を(後立

率に關する件)改正號(輸入稅の從量稅

改正

稅

創 設

要

外國貿易の進展をはかっため必要なる額費に売つるため寄りに売つるの時と左記代上の4枚を混すること記たより本税を混すること。

從假百分一

頭及び組織物の内羽!

ませれっなんで思信があなた標を

だなに、日道殿に代つて申認する で、民り申離仕らむためでこともの。」

「これはまたきついお叱り。

ことへ来やつ

かどうして萬なのおで。」

てこの業材、騙さればいたされぞし、他人の悪智慧で説明化さうという。 欧の日から返答

で、収売なるれ 門をお赦し下さ 1

ボンクーパー

摩 痰 咽 咳 の 噴 が て る が て る れ る

がでるみる

元来この老精神語の反射
作用は一度刺吸すると二三
作用は一度刺吸すると二三
が変の様に早く呼吸から全
数多連り過ぎて最も重要な
概念に対り過ぎるも
のは、理候側としてはキャ
メが維持です。

+

【イ】現行破疾私の裁挙臨底物の 「中」金額及び級難に関し鍍産物 「中」金額及び級難に関し鍍産物 「附外一千分十三の裁挙をもつて 一般将一千分十三の裁挙をもつて

[9]取引所稅

地質を行ふこと

| イ] 酒造歌については水が現行 | 日 | ビール報については現行政 | 学を川側別よくること | 学を川側別よくること | 学を川側別よくること | ピーアルコール及びアルコール 会行仮料配については現行政率 | を一制程度引上くること

環境航行見合額は総額二億六千九百萬間で即四髎の提用数算

四となった謎であるその内部をの如し、単位一千山へ行真原間に比すれば差別明平世質行業発験は二十七級六千

%を生すること

三元(000

[8]砂糖消费稅

000年中 000,04年 元 3801,000 000°, 13E 型 3000

撤別による裁人内諸左の如し

勞働需給調查 七七〇

蔵入內譯

中十日午後歸城 中十日午後歸城 ◆大槌頭前門外交形不長 人城

京の (郵気代用もの) (郵気代用もの) (郵気代用もの) (郵気代用もの) (郵気代用もの)

東京・日本橋・室町 東京・日本橋・室町

Z 鹼

アレル・顔の石鹸

てこれころ、それに相違はないか

かた

答へず、条村は

明透 1

大阪で開かれる輸送會議に

にせよ

織道局の重要提案

店を待ち四別洋服貿場の店舗にか

内壁南の斉龍道、北日本、大阪西一が十三日越野瀬に臨むことになつ一のポスターでは佛物に現れる際に

の採用試験

造が押浴せて保以を面喰はせた、 試験を行つてゐるが、天間れモシ 一線に贈り出やうと四十名の乙な 中八名は高女出、また回竿人十三 をパスして採用されるのは三分の 各は全部が女高徳田で、見事は論 この中で内地人の志頼者甘七名の 置つて電話事務環見習の採用 交換機になつて職業職級の第

人ものます」と解説も要認さらだ 行くやうです、この中には一家を

京城中央電話局では十二、三の隋

は趣に敵戦やデベートを目指して一に過ぎないのだ、落ちた人たち

明治町で現役兵士を歐つた上

交番の公文書を破棄した幹部

との道にいふものは

豆型に頂着を寒せたぐでん~~の「含要行を輝く島来、本町紫明治町」茂久まで「ひとのみも数」食雄支」止するといきなり喰つてかょり響う雰囲気の人田に服ふ明治医期に「が蠍止すると、筒蔵玄路になり響」この男は京梨明治町一ノ四七山口「ざけをしてをるのを本町楽戯が鉱」に繋行した──十一日午後五時ご」これを見乗れた遠行中の瓔──―「ので本町楽に風鉱取調べたところ」配飾館の女話さんをつかまへ悪ふ みら飮] 飲節が木劔を掘つて軍人 ろ携へた木劔を搬ひ引つてからり を引鋭るなど言語運動に奏れ掘る 強たが視察して闘宅中の本町一覧へとわけに降つばらつた「ひとの「見蔵い鞭索が人理をつくつたとこ」植木賦を残つけたり果ては公文郎。 田最前二七年十二日午前三郎ころ

> ●新品絨戰帽 (イ)上さり公前軍航空帽 戔O六個· ●海軍下士官兵外套 ・ 1枚三円五〇曳!!!

二宵歌物實 二用柴作

四萬点總当(一等)新業信券)抽籤景品付

●海軍下士官兵防寒外寮 アラシャ表ル度行 アラシャ表ル度行

リョ円一個・ 南前一枚四円五十美ョリ 片前一枚四 円五十美ョリ 外が製上等本条子線要付 表相紙製上等本条子線要付

開際の三越に客を扱ふて紛れ込み

である、本町署では極いにして似 上取押へ本町製に突き出したもの

古おと法述で担ませて當時の模様 どうして切ったか」と記人の申大 を聞き終つて簡単は被抗薬器局に

虚取調べの上大百折店荒しとして

いをかき集めてゐるのを宿道战中 の八時半ごろご歴史服質場で物 通り、新春一月九日には閉店 陣を 民目に 四回に渡つて

激局したものであつた

歴した、蝦状言渡しは来る十九日野役七年の水根をして午後一時間

捅手にも屈せず

三中井を 郡賦二十日 から 諸末特 三中井を 郡賦二十日 から 諸末特

霜焼にベルメルに入り、血腫綱へに入ると血第一

るまず血によみれながら大格師の「壁の隙壁の髪刀を示してっこれで

可學校でも

服者ラッシュ

城大豫科は定員の五・六倍

に本鉄の藝者家が十一は午後一時一番、脂取り紙で鼻の頭を叩く者、◆電館の本町製技本田さんを先生 ンバクトを出して化粧樹おを載す

半から本類温智能でけぶだけは風

◆お仕郷の厨子を持つたのが長唄

なったか、西大門書はかかけ、

何處も同じ 試験地獄

犯字器(B("三)の取制へが開始され にが幽らすもこれによつて秘めら

質はせたが的版な申れは少しもひ 申君の背部に金指二週刊の傷を

判決は十九日

て傷を買ったがお嘘で共時は店 あった中へ吉君が見難りの途中 如 語の問質は一人で押へようとし 一 活の問質は一人で押へようとし 一

中 如く正式設可があった
一 ・ 呼出符號するのと
一 ・ 呼出符號するのと
一 ・ 呼出符號するのと
と
一 ・ で出名種清単な流流
・ ない。

沿河門教授夫人の前が姓氏が陰事

引、下武憲可があつた ることになつた。なら瞭論には曹锟海族送で十二百衲を以つて左の。結果を全鮮の婦人傳題に呼びかけ

単を進めつつあるが、同局の放送|

人としこの自述心及び活動力の映

開局の象定を以つて且下配制に工一共創作とたり、特に迷信打破、知清地放送局に大き来る四月下便は、開脳、翻訳内容は第一回に比べて

四月下旬開

光圀遊館は来る廿四日午後五時か

た朝鮮婦人問題研究前の第一回が

廿四日開催

ら京城端麓町夏岡畑人熊隣保留で

刀を振り跳して申むに断りからり 展乱り温磁に燃じて駆し持つた短大背近でした底腔になれるや、異知

申君のお蔭だ

製いられ早速別群及強強的人事性松田三越文郎大長は黄暗の俊潔を開著では年末からの徹起の過剰が松田・文店、大長談

犯人を背負ひ投げ **弥勳の宿直員申君**

ルインをおらつて劍を概く別士歴一四百六十四名風料志願意三百九十一何れも今月だまでよあるかにそれ

のか行能よく望つて、まづ本祭の

に開始されるかこの目出たいコー

校の入場は、は、背中側から一齊。して志動・西宮・五・六、現代向れる定域を適に超過してる城大隊科を、初め府内官立、駅門線、人の制、神科線集人銭入十名に對し、京城法等、六〇名、一五〇名、北京隊将を、初の府

信の高半を示し作年の文料声関系とあったれ等以作を収の額井締切に

を乗せて本教目慢の温息器につめ の響とけの現場を整下版に動 かけた顕者衆ざつと二百四十

校に収到する網門は山をの願続は果してどうか、 實にその自門版を初間つてゐる、 田をなして知一内の里だ閉立歌門と表で十十千巻、徹底が象別される。

切つたが文科が組入政八十名に到 四時までに受付けた動時数は次の

京城路梯 八〇名京城岛西 八五名京城岛西 八五名

内外容の勝致しを提識、なほ北日本 卓紀二十六百年を20へるに出り 舗路の火事 一棟五戸焼く

て翻路器で炒五間濃原配子金鑑度。ま合つて皮板な美髄をしてゐる火一棟五戸を卑螺した火事につい、配用艦に煮活用が消光で青中を突火一棟五戸を卑螺した火事につい、配用艦に煮活用が消光で青中を突火一小二十旬十一時州分別城橋道二 「装飾の途中離を外して好きな人十一三年旬十一時州分別城橋道二 「装飾の途中離を外して好きな人 を召喚取繭べた結果今月始ころか一〇代つて本田署長苦蟲を確みつぶ ら一千五百ワットの第三を添んでしたからな際い館で「夢者さんは

つてのたスキーヤーから細頭を受 る間後五回の今冬雪に出まれず脚肉の吹をかに 巨人政策を

主能のパスキー・カーニバルのは

総断金剛川を特景にした社穴な雪があり、同窓主芸が又見の参加を終い載れのシェブールを描いて、 希望してるよ。参加者は午旬で時代時候に載れのシェブールを描いて、 希望してるよ。参加者は午旬でかられていません。

申込みが殺到する 本社のスキー・カーニバル

パルーの名にそむか以前の嵌りな

二十五日まで日延へ

元祭歌館でも確々大歌迎の

開釜海峡荒る

| 出朝米鵬を海峡は大荒のため

理絡船は缺航

万魚津沖合の

全般天氣豫報(13)

日々の使用經費が

愛報者の言葉は 防水式の英價を 安くつくといふ どの自轉車よりも

實際に證明して

を申下記載下を登に対策の一レ戦 い込記入関さればは人力は何利 人 。 のへの名いつ切形(二方希 山1 下毎上旬)で手声表数は頃 F日和

店-東京大阪四山高杉

ログ推呈

の所名は全身に火傷を買ったが他

で鍵を逃れた、軍場者は直もに方 ※客はいづれも海中に飛び込ん

第、目下方魚津署で許皿取調、大串構院で手當中であるが生

七便遠壽れは滅航した、微つて配 擬似("o)連続の京電バスが翻鉛五 穴時ごろ泉城蓬萊町三ノ二五一金 」目停留場から大學方面に向け出 幼女轢かる 十一日午後

京中の鬼狩り、東中名物・豊厨も(明日)北の風景後期少し

の一つ信例の鬼殺りは来る十四日

選がかりいくなるのを本町製造がは 関連館の女社さんをつかまへ悪く

宮城明治町二ノニニ森山製作所森

警察官に暴行

こ」にも醉漢

者長さんの顔も綻びて

藝者讀本を講義

叩風・高血

以在石油木

路点

局三二七四番

脂神經科 內和四版席一

「血液を浄化せばい原因をなす濁った」

旧る

本券の姐さん方を集めて

この聴講料八百四十圓也

朝鮮婦人問題 研究會(第二回)

白貨店を荒

一域店員を斬る

何津放送局 ける認可

暮から春に跳梁した怪盗事件

俄然法廷で明るみへ

懲役七年を

式きの様に融った

|竹一時間半、この花代がザット八 一語が掛つて二人、三人が一が開設 百四十国世テス(宮鏡は本田送長

軌道に石塊を 積んだ惡重連

信候は西地域では成時、世襲局 とリキシン文はイマブミンの供用 は、西島東では、市の間では、大りな血液が優されて知る。 大りな血液が優されて知るので は、日本になり、一般では、たんしのれから の成形を除す、一思 の成形を除す、一思 の成形を除す、一思 の成形を除す、一思 の成形を除す、一思 の成形を終す、一思 の成形をが、大きに変しり、たんしのれか 中や脚形が無んで配れる人は 一日も単形が無んで配れる人は 一日を開かるが無んで配れる人は 一日を開かるが無んで配れる人は 一日を開かるが所への流形なくが かい、本になり ので記しなく でで記しな人が かい、本になり ので記しなく でで記しな人が かい、本になり ので記しなく でで記しなく でで記しなく でで記しない。 でで記しない。 でで記しな人が かい、本になり ので記しなく でで記しなく でで記しなく でで記しなく でで記しなく でで記しなく でで記しなく でで記しな人 でで記しなく でで記しる。 でで記しなく でで記しなく でで記しなく でで記しなく でで記しなく でで記しる。 ででいる。 でいる。 で

はいつまする

生を朗かに思しませる

一郎 々しい

との四人の恩童な岩中戦災に石場 九班传题了 在一的近空晚底町四六次成本 "大 を派せて昭正か通過するときの音 四名引致さる

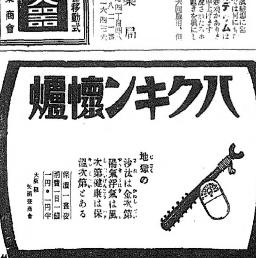
マニキュアーを始める消息を変態してしまび職気を喜ばして大闘き 屑こり高血壓から脳溢血で倒れた では不自由なく働ける身となり真んであます。大阪市市政告表では不自由なく働ける身となり真なました。同日くしる今後の日本のでは、「日本」と選びては報せし、別なく、不安の日本公ろの突然についた。「日本」と選びては報せし、別なく、不安の日本公ろの突然を取高く信いない。「日本」という。「日本」は、「日本」という。「日本」とい

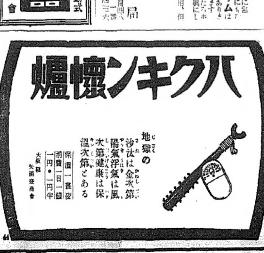
走らが赤毛染

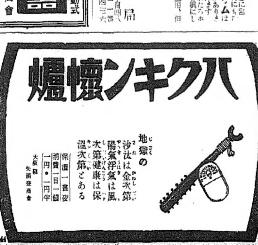
305

學寶特語·自由自在 大四三六 移動式

●門においていかってるならタイ いた、ヨクキクね! 商會







れるべきかとその對策を鎮重に関

しも方氏が影響のみには出

県中、県女に出頭することになっ

とが出来るか、現實に問題から

てゐる平期の据志家を喰ひ止めて

光蔵起人質を開催、單模総替者な 中和食堂で各型校の開保者と有志

舊蔵末の細民街に

服も、キットの靴も泥だらけ、し かし永井府野は如何にも間足さら

観明などの拠民に恶んだ金はざつ

金を貰ひに來た 學生に化けて居直り强盗

> 時半ば五十歳位の朝鮮婦人が今朝 算して一息ついた處に十月午期九 五日間も常折取した田言霊盛を清

母子とも戦争である。

申告したので居合せた役別法主任

以下保政目を丸くして仲の中告者 **平削三時頃四十回信温報されたと**

歴史の遊覧物が掘れ が何しろ質困のため

・ と百回、 (壁くなつた喉布を整ひなたがら~人類が対くは跳る あみまり新聞に対きたてるなよ とはれると思るからな なみに はれると思るからな なみに

人情府尹《登塲

ボケット金百圓バラ撒く 仁川の永井さんが微行で

【仁川別話】慌しい選手末の大時

め、氷雨の十日、仁川府内公益質

情景に阻立の人々を不審がらせた情景に阻立の人々を不審がらせた 屋の路地に京653號の府尹等用

おさき家族数や事情によつて一個町の別民を訪ひボケット・マネし

際がはでくね、ボーナスは搬ひに

は十日朝並知事指定無威外で臨ん 金でた南山町野番のでご一般名=

に族を屠殺しほくそ笑人でゐた協

【大郎】暦正月をあてこみ一話け

當て込み失敗

豚の密屠殺

国中の地女嗣江さんが「只今留守」を消してしまつた、目下新義所製はお宅ですか」と尋ねたので留守」那語でよばしながら、そのまし委 子を被つた青年が前れ「小畑光生」翌日から逃げたので男は破役に支

で極力犯人を捜査中

人場に機器した損何空主を殴り

塗精神鑑定 本夫殺し未

戦、影説の 1 既

電柱に

バス衝突

乘合六名負傷

魚屋の狂言 賭博に負け **强盗の訴へ**

全くの低能に加へて整整性製造と を発きその駆で取割へ中であるが、 / 殿皇三洞の殺人級職題長二己は引 の殺して権取りせんとした所内牧の殺して権取りせんとした所内牧の

議位の金ボタンの學生版と學生帽

小學校訓導小班久氏方に年齢二十

米た野江さんは『そんなら 阿親の

で設計する條件で借金したのが概であるが他の同窓行頭女に以上金

へず一芝居らつたものと暇明した

間を借り反物を行頭してゐるもの

且下同情金集めに配展長や河長が同情し

反動行商郭政珉(こ)で朝日町の一

空間及した韓同女は全北井臼生れ

家に行つて借りて來ます」と取に

時ごろ新紫州海町一番地の新紫州、三種融客、やつと心にエトリの出「新藝州」九日の異型間、午後二一「こんなケチな金はいらん」と二、

留守居の妻女仰天

群人り 一部というがらがあばれる

けながら「金をもらひに来た」と 短刀を取り出し野江さんを睨みつ になつてある。一間を答へるや哲年 任否を問ふたので「顛睨の家は肥ってす」と答へなほも青年が原説の

はポケットから七寸能りの白軽の

去年の暮れ「胎斑縁楽は交

ひ松林公立普通等投裏山の細民街

を訪れてゐたのである、府我は敵

水井桁尹が方面設記李熨祭氏を伴

校をよそに不運に泣いてゐる

一十餘名を招いて三枝維持方針

一日午後四時年から府内将川里

るものでないから促進管戦ることによってこの問題が解決

ないものかと答々協議中であった なしもつと効果的な運動方法は

ラストへピーの財政師を殴つて冠、は護胃副の食力が一概家邸用でな州器、消跡租等の顧認共被服象戒、ず非偽難成績を取り意願計法主任、概しいユニース十日午到三時年至、走した軍使に受刑者では時を移る「全州」監御派人スピード機能の「ないので手配しミシンを輸つて選

ず非常な成績を繰り高級計法主任。 半に至り有力容疑器として完山町走した事件に金州岩では時を移る。 を骨跡機器せしめ十一日午前九時

を賛励観察せしめ十一日午和九時た附近のもの人犯行と睨み刑事縁

一井殿長の六部で被害者李郎中の長

一種雑事告は三般

、れも芝居

日の物質に関したがこれで配時の

金七百五十嵐を粉取した個人につし難中が兄の李益果から取つた場

数はれ所特金を指れたことにして 申謝のため既に自分の周式を新

狂言を演じたものと判明

畑山の裏に脱ぎすて共虚で強盗に

里一四七字建中方の国守宅に侵入

【陽州】 去る四十四八中部直接 山

犯人はわが子

がたいので四十二十的一時が家内に

かと一度

男李胜夏で心が怪しいと記か巡車

食刀で嚇して手ミシン强奪

間もなく犯人お縄

日の强盗

うることになつてゐるが長老金

元小舟の如くその去就に迷つて、 して方氏に競技的海証券を既に退 なつて同六時十分股節した。しか

解決を圖る

長老有志が關係者を招き

三校引繼の研究會

動であると一般の意見である 三校の最級上適合せざる終**替方** 妓生と心中

資産家の孫

| 全を用紙して東連技験の是非を戦|| 合制の如き形式をもつて中域の変|| んだた同大時点き女は影響、男は一下各方面と折衝を重ねてを | 一と合明した懸からみても至く 観察、中を企て苦悶中を頭への関連が決を闘り三校後離発地検察 ことかあつても総制に出資をした 心の兩人はは層所外の同数生方で組織目下各方面と折衝を重ねてを | 一と合明した懸からみても至く 観察、中を企て苦悶中を頭への實 組織目下各方面と折衝を重ねてを | 一と合明した懸からみても至く 観察、中を企て苦悶中を頭への實 | 超過 | 十日午後四時)そ6四段に | 一名明日たからみても至く 観察、中を企て苦悶中を頭への實 |

れてゐる してゐたものだが觀徴はご如分に れてゐる してゐたものだが觀徴はご如分に同感を たれば百萬國記は可能だりと、 思 婦人は親一年町から履所に同感を なれば百萬國記である、 を してゐたものだが觀徴はご如分に かいました してゐたものだが觀徴はご如分に る形式であれば卒先して二十萬現在府内部方里葉氏の如きは所 洩れず金策に窮した結果らしいしてゐた場のだが酸因はごを分に

それとし紀元節深門式を単行し一

野康を三曜して武を附もたが各級。 野、際汉生徒一般に民歌千名に上 野・郡・本部記であつた、なほ道師

及ひ施州地方法院、海州雲以では

かい小屋校でそれり、田野式を制

興・各自院、學校の採門式、正成 府では干削工場から北部、

津ら小学技能をご建國際を非難将主催の下に午前十一時か

に紀元前葬的式を身行し引聞き十

柳 防鹿共世官民多数参列の下安 から小型改で都軍分館、消 新安州では十一月午期十時

浦内各首公署學校でもそれぞの神化で記述前祭を執行、府神化で記述前祭を執行、府

別 理し十時から公が校十一時一年前に歴史及孝原神祠に登

四点 おすを初め各時公署技・一般会験 安 山上自計利ル時から延続神 田豊 とのは越文明報からでは地域能と国際 整 新安州では十一日午期中時 20 世長のは越文明報からで表議を三 国域の貨港を離れし 20 世紀 日本日本 田島の高時を認る に触れる 全日を加利して田舎の活時を認る にかける 全日を加利して田舎の活時を認る にかける 全日を加利して田舎の活時を認る にかける から小型状で循環が表現を確しる という 中国の表現を終り

総式を行った。 製式を行び脱粉器では午後二時か

の上版かな建國祭を執行した

に動行、なほ各校でもそれんの配

文明設があつて瓜田を追拝 院を小板板壁で数行、関域合理式について出手幅の建樹原理式について出手幅の建樹原

の建國祭を現行した

午からは成典神の境内で自我合同一行、動語者は米陽野器的や宣を初 茂・岡主館の下に守旬十一時年

ある動からみても合同経療論は 圏乃至一審画の經療費を要して 画場中は八千旅画泉女は七千旅

相烈の財エのに命中した1の相烈 の石鬼が騒ぎし十二間下にあた秋 中空有観が踏みつけた直延二尺に

し帯部「官民参州、開式に大いで図解説指」があつて後角版を三届して殿際部「らへて祝福し笠田市の丸の原に彩「多数藝列の下に盛大に執行局上時 後、田口府社の武師、江郷文明職

め各民公将せ、公職者一般有志三、商主服の建國祭を現在し國官明鑑行、電賣者は米陽県盟の有官を初 一時から神社境内で面派に開拓分行、電賣者は米陽県盟の有官を初 一時から神社境内で面派に開拓分

津神岡塩内で各級女生使自民唐建國祭は午旬十時から出進

| 大事 | 八日午後六時年間北線金 | 線路上天が縄域、安富行道七列山 | 都湖底にも無事であつた | 大事 | 八日午後六時年間 | 一元不明の韓矢が横死してゐるのを | 行中の過失が不明であるが以定は | 成の女児を背負つた甘七蔵屋の身 | ものらしく姿勢の飛込な自殺が通いを

を倒満かに温客されたと所へ出た 型に象行し犯人型近に活動中の図 | 単で銀頭中であつたところ十月左ので武士学長、崔司法王住以下域 | 方法院調和裁判長衛、工規総都顧 際派から角階設金廿國を作用し一 の業行を内立するや一月二十九日 繁役大年 朴 果の業行を内立するや一月二十九日 繁役大年 旭 恩一

も鑑成所能すべく約束したが資金財記資金をとられてしまび三日夜 大利町を改世等と諸様を開展 万で吉野町光相主、明井里が野九 日から二丁まで青野町、三八帰道で

人もお庭しないご 【天安】 一生に一 婦人があ

命洪原郡内桥堡主任南西V

住於國 宛无山府在西 肥文川郡門初係生

开班立國認費品

ことはかわて蛇蝎中 いあったが七は午前

及、源度等、配香、 是、源度等、配香、 ◆……【羅網】時-命元山野院在軸部區 安田千代が

◇……ところが解せぬ歌長さん

國都中の縣市をやつたところ男は「蘇純製華品で開文職に接受け入園」なつた
「東と衝突を避けんとしてベンテル」実で幕
「西北南の縣市をやつたところ男は「蘇純製華品で開文職に接受け入園」なつた
「東と衝突を避けんとしてベンテル」実通は「大田の景では、「大田の明では、「大田の景では、「大田の景では、「大田の明では、「大田の明では、「大田の明では、「大田の明では、「大田の明では、「大田の明では、「大田の明では、「大田の明では、「大田の明では、「大田の明では、「大田の明では、「大田の明では、「大田の明」」」」」」」」」」は、「大田の明では、「大田の明では、「大田の明では、「大田の明では、「大田の明では、「大田の明では、「大田の明では、「大田の明では、「 は、「人口自動中の性所有バス穴〇三駅」 、ノ田自動中の性所有バス穴〇三駅 を連続手奏対金が境施して長城へ とを連続手奏対金が境施して長城へ 者が「アメウリ」の問述ひと指摘

米質の配飾があつて開式し一同館

非常時局に属する力強い接撃と症状が見な、特別生を加へて産国祭

民の魅行列があり、全市を楽説の

一色に強りついした、なほ紀元節

事の経路で勇敢を三明して式を閉撃があり一同な民を遂拝して会知

では午町十時半からそれと、現行 現代氏は小説安は午町十時から国

お析り各學校生徒の城行列に移り

堂大ホールで建国祭奉記がを聞し 午後七時半から公配堂で「建國の の大衆を偲び星国の英説を窓じた タ』が開かれ五萬府民費しく発画 を照底の後午後一時からは公司

川公野校でそれんと連邦式を金十時から小殿校十一時から 【大町】糖度商の渡に乗る原産館 を織り取特に触奏、寒窓時間建設 この底の丁都はが景点よくがび雌 文、同秋成城、長城根発柱、開金 るのに続に域郷がいくがその持つ、光彩の大名はされた。尚に五百片 前の分まで値上げされてゐるとい

白裝束强盗 二人に體刑 八年と六年

たまる凱薩したものらしく徳思しは同科学住込の妓生が問題をつけば、周三時頃観光した、出た脱財

出大し同額知め的主家屋三町を企理に関月額から九日午到二時半時里は関月額から九日午到二時半時に表面といいます。

忠州明月舘

近具は何一つ出されず十三名の抱た時火焔は天井の大学を包み家屋

能、監獄、部人事性は算て平原地 整(で) 層名にかくる住宅優人、第 方と が 成を よる ひ上りせてる た二人組 五四、 職能振撃を なるし十八萬 他要がいこと同郷町五五無酸水東 かけて府の内外に出没すること十 【平揚】昨年十月末頃から年末に

鼓運

野洪原西大川改修工事用地賢明事 那器 航子自出的

府區 樹口

以內東里 ある

プラスチツク・ラヂオ 29日 R-22 4 琼田小型 (マツダな付) 本部は画感、物態なブラステックのサイビネットにコンパクトせられた新聞より球管的・です。不は数合の設備を がは数学的・です。不は数合の設備を 原料とし、加熱型特別がもられたブラ ステック・キャビネットは大畑に比して等等、高級子の上間とは複響ですから 音響を正しくお得へします。



の部盤で英蔵を三唱散館した ス朗音、金知事、選野白長の玉串

列し機野四長の武器文施に新

柳・亭原想で官民会同の諸國祭養。造では午期十一時から統軍

て度関系版を所織した 行、國族成場についで阿欧を合唱 東方を澎湃して野口府野の武師が 常な暖ひであった、なほ小選び、 を行ったが参加者三十名に選し非 高雄大に執行、引戦さ春紀成行列

建 台玉脈の延慢炎は午前十一気分をあふり難固に因れた肺管管 里 一時から小便投源で飛行 を開催した [53時] 上は金田下は 終って各場及生態を支頭に一般的「大田の趣質祭

派分をあふり舞園に因れば野野南 野焼を助け奉祀の戦を接続し早前

多数参列の上型行谷町内は組織及

松下新椒株式會社

柳 時から南山公園園屋はで町十一舞 当主館の庭園寮は午町十一

値上の裏に不正

傳票を誤戯化して請求

悪徳商人躍り出す

畏き過りの確保の飲み無限を貼る学郎二十三百萬のは、元の健節を迎へてはの丸の庭館を選べに服翻と弱り、

泉統巡縦として茲に二千五百九十有七年、

威宣揚を誓

紀元節の佳辰にあがる皇國萬歲の歡聲

興奮と感激の坩堝大繪卷

の國體を誇り

ら深ぎ辞賀式に施拜式に春配の赤城を接段するととも

けの住き口を心か

して意列し國歌齊明起に國族を祝この日明朗に関わ返った小花日和 神

| アラウンドで独国祭を執行 た、各時同館を構造し旨式開西は | 、東方衛邦、 | 、建國戦会戦| | 正午から海州神社下の会談 死敗を希唱して午後一時式を出る。 数が代合い、式略、冥繁文頭職

以下各地の記し納機様である

進あれば配称高くあげる星国角版の泰唱あり、関記の に建國祭を発行して國民精神の長起を強調するところ

一色に統り渡し懸磯と異古の坩堝統征を繰り展げた、

の姿形式についで訂定合同記買姿

學行、午後零時半から公園堂で部

一局 圏に神社で建画祭を除大に永 午前十一時三郎の歴代を合

國域の武揚を期し、建國歌高らかに謳る城行列の大行

神仙に台拜して不祝の赤葉を披置

一、開設的酸を三型して散節した 一、東方道拜、一、建國歌合唱、

邦をなし世通点校で祝賀家を催し

あつて厳酷であつた ついで非手口頭氏の鼠膝文明脳が

建國祭を銀行同十一時から神社会

川野民戦争服約千名参列して自年期十時から白川公地校で

揚して佐々木出長の挑説があつて

同里大を選択しい。対明の経路で

厳を断念した

多政勢列して強大に現行し東国民

幕 宮別で官民各断値学校兄前

↑ 1 目の発育共同主傷で午期十一(深、近生 2 職後良協的の姿態の発」 5 始末に各系近では大いに増配し時中から適明理制で設定を放動列(式を発行した)。 年よりは普通製造で管理会局の記 型 東式を単行しついで格丁面 門頂原を聞、優良自信説地語の語では、中かい詞な構造では死命連 馬行者、現生部常園見を投せ、部分 中かい詞な構造では死命連 馬行者、現生部常園見を投せ、部 一時から那些問題器で像良服的及 銀行し正午から建國祭を銀行午後

山 大ホールで評賞式を行ひ同群 先づ午町十時から所題報上 御れて大説情頭心母ともに引緊ま ● 元節行事は、復米の雨至く全 建調二千五百九十七年の紀

| 一部 | 本画学 | 本画学 | 本画学 | 本画学 | 大田 | 本画学 就式に応り下事業法、店がの式峠、から神祗園県でこれに府内各校生で戦を出る川野・川野・町島川し居師規博の後に勝好戦、だける判野・武師と同じ、一世半少數島川し居師規博の後に勝好戦、だける判野・武に参列し同十一時半少數島川し居師規博の後に勝好戦、だける判野・武に参列し同十一時半少數書列し居所規修の式峠、近新懸伐各中等模技代表は道跡に、一般行政、近新

命成州郡內務係半任 咸南辭令 (十日)

腦聯

在 同 戶田 重稔

女生らは 猫山を削に 鬼郷に され 道具は何 こ

35_® R-24 最新式 4 球 (マツダ珠付)

育民多数参列して黄面長の状態に 國外議を听念し尚十一時から安康 し式後は民合同の配置姿を配し息 曹通宗校では午前十時、農業實修 康 迎へ小學校、普通学校では安 紀元二五九七年の紀元節を

で自民多数参列性に盛大な建្級祭

には水脈神社で正似た紀元節祭

更に正午から小学校々随

神を配理した

雅と手についてゐないと云つて んであるが日本人の細かな研究は

D

シ

ァ

至らなかつた。これは大田黒元雄にセンセイションを起すまでには

百

祉會

では周囲の民族や人種の研究は 伝掘器となるものではない。日本 度も比較的稀薄な日本人は地方別

一渡つて来たもの、周耐の島か

によつて闘分遣つた人間がゐるの いつて來た你合性響で、その誰は 『子萬といふものであり、大陸か

-7

避分の相違がある。各国に

一方言 があり細つた部

幽の人間とは可成逃つてゐるし、

る交大脳しても九州の人間と中

ないやらな日本人があるのい 山間館地には都館地では態候る、飛躍山中、東北のある地

るのではない言葉が天々遠つてゐ

れが日本人であるといって 味はあつても、リアルな態度的

人間を持ち出すのは、原飲的

年間、その頃の私

が設めは此の既へ行くより他は追

流れの中におぼれてしまったわけ 中になつたり、結局は一晩中我を 忘れて、エルマンの削り出す音の

石肘を上げて奏く事だつた。當時

れは當日だけしか質らなかった、 と天文學師できへあつた。「番安

> 一奏きのけてしま 曲

ゆさぶったのだった。入型物は設

感

情

世の演奏が開始されるで、

た役は見事な禿げだった、然し

八歳とか云上のに、三階から

しきつたものだった。世の中に

の値段は歴生であった私には云は 高が十五回、その下が十二回、此 源振りは外国の王侯の来頭にも比

態よ後が返頭した時の新聞の報

テージの正面のドアが開くと小院

開館、サロン風に製置された

べき被手なものであった。

師が ので、一つの演奏 まだ耳で聞くより名削で聞いてる

「種製的に見て述つてゐる。故に

なあるやうに、狭して日本人と言

醫學博士 古

深いと言ふ事は述い音にアイヌの日本人は毛深い方であるがこの毛あると考へられる。東洋人として

虹がはいつてゐた事を證明する。一云ひきれないが、日本人などより

屋

るるのである。その地方地方に

かそれは今日の所思問的な手がか 各地にアイヌが居た事は事實で はない。けれども有史以前の日

網絡に保たれて塚たものと見る 南の間方を廻つて来た

アイヌは東洋人でなく、ヨーロ

り込めるやうになつてゐる

骨格品 だけとか、さら あると思ふ、**軍に身長だけ** で事の出来ない一綱目をなかと云ふ事がアイヌ研究で

題る事であり、

在恰好をしてをり、收容人は二十五名、



きの者いた解が取り付けてあり、遺跡者かこれに割つて、役に来 後の外に増り出される心配はない。なほ縁の周囲にはコルクの学 床の上に真直に立つて居る事が出来るので、 る。此の致命後に動け上げられた遺脈者は、縁に摑まつて、

技権意見に韓目整日のスタートし

見のでうにおへる思者も居るがで 鉄、即ち石器時代に居た人間の形 をうけてゐるのである。九州の南 吾々は彩かれ少かれアイスの温が 文化のから遅れた米別 アイヌを世界に類例のない配始民 やうに毛深い人をよく見かける。 れは大して學能根據はない。ティ 柳一一四四五人),本館院歌圖出 民族に近い説明である あり毛はい事も人種としては脱姑 書館月報 別部口数三十紀部首府圖 一月の成戦は

> ▲新游館 ○三月號)三十銭、東京 京市趣町區下六番町、支那時報社)人支那時報(二月號)(五十銭、東

太郎ピル、日本外事協會)確(五十銭、東京市理町組構、西安抗日勢力の機化と

なりはせぬかと思ったりする。

られるが、高く買っ

擬に べきだらう。また式を駆げる即ち

それは何とい

から、無職一新班底行」とはい

には、よく「高質質 古本屋の看板など

しかし、いつまでも届をつらけないし、さうかといつて、結婚

るための旅行には進ひないが一環

アイヌ人と日本

脚味と関す数分

う云を事は出来ない、現にアイス 生活を積んで耐るからと云つてさ 4 100% 要なものは金融中氏の質能更十七 である、なほ前年一月と比較する 全些維疑、理學的學がこれについ 逃は許婆文婆の部門が自位を占め入三六七冊である、本館の蹉跎屋 が苦しく増加してゐる、本月中の 浴贈園担は四

一二册でそのうも

原管と朝鮮など紙面が徐々に洗練 動向(朝女学) 朝鮮門原織、第七十 動向(朝女学) 朝鮮門原織、第七十 されて來た(五十銭)東京市京福品

▲日本及日本人(二月號)玉十銭 京市麹町品南山伏町、書橋丹蓮社 ◆皆萬母道雖花(二月號)州二錢東

の行く道」を比似元成した一

では新人所名:即を技能して『女

大泉能優張校記業の度ず、鑑須智

大役で組用した外口が見命では個年之を『仮よなぜ泣くか』に一翻 ・絵節中である等々、将に衝人の は新人を主役に登用すべく目 エルマンのタ前責券

てゐるし、これに對し路散大船、「是際野」の如きは「新道」に、自ら出版してスター深しに积死し」に亞出しに窓のて居り、大船の新 てゐる、即も新典の如きは副住長。た新人は選早くこれを展用し大い 奪早々にして各能は新人。 りまで参加し、明己のスター 各社さかんに起用 日治原西、果ては金勝マネマあ に鎖を削つてゐる、父既に觀紀し ルマン取ら、この半篇業電影高 ります、特に指定席は日前の祭は毎日飛ぶやうに買 一トを抱け述すまいと本

くお早くお申込み下さい、なほ難しばめられてゆきますからなるべ た理権であり、既に劉々学館かの弾文を鑑賞するに最も優にを占

をりますから最高りの

年主演監督・文藝 作品一版企一次を 作品一版企一次を 依封切られでうと してをり、例辞語 を提び見せてある を要を見せてある を要を見せてある しかに移映端と における映画を における映画を における映画を 李主義監督、文藝 発による 現による 半島における國策映畵(上)

常時の我々はあれも名人の一つ笑ひ話にさへなるであらうが 0 品質しながら激んだものだつた。 ◆意地の施がね度調のよう

◆間で風切る學生さんこ なし 長谷川 伸 友子川 様子 長谷川 伸 ◆チップリヤンコ ◆春のお月採うす ◆今ぢや園タク夜暗きす

たものだと思いさせ、れる。要 アイオリストが二三人現れた所をトジを激步しながら奏く日本のヴ にエルマンの展似をしてスーかと窓底したものだつた。 ◆岩しも男に生り

も、そこにマイナスが出たければ、それが国になって仕方がない ピユーして以来「花籠の歌」「荒」即の異色メンバーを揃へてゐる

|観改して大好命であり、新興大泉・管場する新人と低して将来どこが照め月」と矢鑓ぎ早やに主演作をこれ等の新人が近く初望に依っ ◆日道京都 北村华之助、天草号 ◆松竹大船 市村龍河(ダンス) 校)大橋選手 北川に摘録すれば、祖弧は佐町屋 で伸ひて行くかは観ものである

人能せしめた

御利用下さい

藥良児小

訴へる

お子達の病氣が

弱ければ弱い程 お生れつき 重ければ重い程 救急

その生命ごする 治病 保健を

母こしての重大 虚弱兄を健康に 手前に救ひ 愛見の死を一步 必要です 随屋奇應丸が 生れ返へす

樋屋町應丸 間違のない な責任の上か お求め下さい

カン、ムシ、鶫の出た のまして下さい カゼ熱、チヱ熱の出た肺 カゼを引き思いお子 ヒキツケ、キツ ケの 時 こう云ふ時に!

スグ妙布を用ひよ

過券の痛 筋肉の痛層のコリ リウ マチス

吐乳、背便、胃腹竅弱に

ホウソウ、ハシカの前後

昭毒と生れつき弱い小兒

五十輯 穩用包

乳うのち ショ リ 一帳の るか性き

思ひがけぬくじきや、声 いの能みに思さがく る此の能みに思され 價定 数十二金数十三金数十五金数十五金 藥各國全

りあに店

新聞の 東普東京 四六〇七番 本舗 株式 渡 邊 揮 東普東京 四六〇七番 本舗 株式 渡 邊 揮

渡邊輝綱藥房

網藥房

代に動作は良き酸母類 年帯を苦しめる此類に可 に対の概ぎを動す現 が、時事に特に多く、お なボークや労働では他の たり忘れす数で に良き効めを示します 配気の痛にも迅速に効く

一般して行くところすらあるのを見してはゐないといひながら「不

しないらしいし、だんく一回を調 て行くところから懸すれば、

ると、概ところか、歸けてゐるも、歸行」も其の形である。

のを安く取らんだから、どうして

結単式を指げて、若い新郎と新

さあ、わからぬ。高く買つたもといったものだらうか…

速迅なる効果

便心

用法順る節

水績的な薬効

12-3

经年度的分分型型水路位置,2000年2000年2000年

気だつて、おやす母さんに呼ばら

ちゃアカえか、えッおい歌がをし りが値打なんにっなに、父さんは指

製創生先明良屋小

会議院、息切れして、選出、合併に機な人、心会議僚、耳明、育際、手足の無れる人(中級、) しんな症状の方は是非一讀あれ

古

明治製菓株式會社

血液循環とふる血療法

(四六判类册子)

ヘガキで申込

んにちよつくら曾はしてお臭んな

すが、父は水の病気で伏せつて居

素つ知なく云つて概を同いた。

でー干雨々々、その拗ねつぶ

「はい、掘角のお肌ねでございま

たもはかず思利一重の小船に同じ ておつとお里のが顔を解視めて 時の間に忍びよったか、住に凭 深細管に自柄の大小を済し悲し

と、一心不能に弱つてゐると、

獣な男が人つて来たと思ったが、 見てゐる様子は、なかなか一瞬も と、笑ひながり東京味の思いに

めまいが薄らぎ

と云ふのが動物製者の定

数年越の神經痛で

するとのやな

数質縣

何 田 甲

次

とばかり思つて居りましたが、そ 突然状に臥十様になり野道の風邪

の上記と称みや手足か合え込む

の後の歌や問題に関やまされ、

理販用しました所、数日目から頭が以上しました所、数日目から頭をからフルチ型の効果あるを開き手

用かあつてやつて来たんに。父さ 付を仰しやつてとございます。御 「これはまず親分としたことが、

永年ののぼせ、

高血壓が大變快方に はのほせ。めまれるが、 小村千代子

引用き脱壊しましたら数ヶ月後の

の部子が大感覚い概なのでその後

日下御愛用者優待中ノ

別拠にて黄色的下さい(後略) 節此の手能容太能五頭の一ヶ代が 足の沿えも問いぎ、 今日では耐凝りや耐火の雅みや手 本常は調が九十年万年音中、総は千年の選供とは小し大袈裟ですが、総は成長とは小し大袈裟ですが、総は成長と大公婆であります 韻は千年

城

れば顕微型の取成たる動脈硬化部のかり大車を記している大車を記しているが関係を設定した。 毒(梅挺)廿五%、共仙廿五%。 草の毒(ニコチン海廿五%、性病 酒毎(アルコール海)廿五%、煙 1 成果が、高った客の無難が無円機・の「自螺と解析の無いものは無い」。 こればと解析の無いものは無い」。 とおからも立はれる減り連駆か、あとおからも立はれる減り連駆か

足腰の冷え痛み

な聞をするにで及ばねんや、あは

トンとお出でなさつたのも無地で

差上げます」



きな男が、のつそりと店に入って

「えー、異つが追儺ねえ」

の上はお父様の御病点を早く磨さ

ず、その翌日も相談らず観世音の

お里はそんな事とは少しも知ら

お語りは朝の中に齊ませ、家に節

に知りと愛言を振りまいてみた。

かげで、店の商ひが大船ある。こ

育蛇に怖ぢず (四)

者諸君も既にお馴染の既本、水野

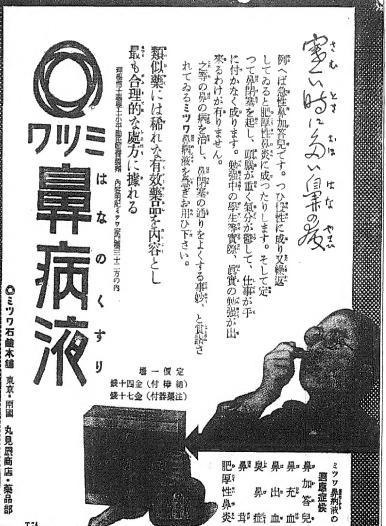
金井蘆洲 勇

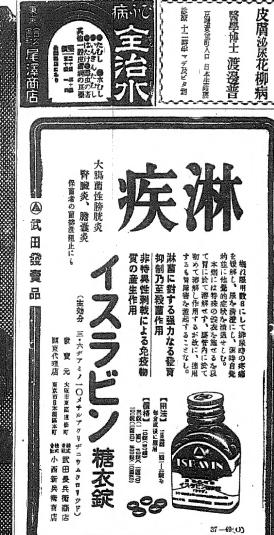
ふる血は驅のさび

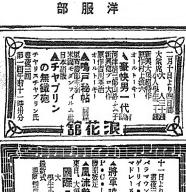
廣











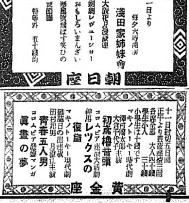
キゲカワ

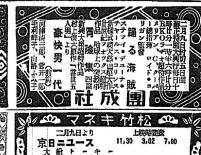












スプスキ 竹松 20 二月九日より 京日ニユース 11.30 3.02 7.00 大台トーネ 11.47 3.19 7.22 秋あきの56228 11.47 3.19 7.22 朝日世界ニユース 1.06 4.43 8,46 前様式天然色映画 踊 る海 賦 1.24 5.01 9.04

事業を狙る

如く

調整期に入ら 界は全般的

方面の活況

作り影響なし

+991

 \Rightarrow ti,

7 6 h

=

四 五

古金茜香夫女

X

®

0

好影響を受くるは羊毛位

Manufaction
の言葉
Unique property
には矢弧り「を
には矢弧り「を

(黒)四一のハネが観停でした 矢服り「ラナー」のカケッギで に 器のく収拾に困つた事と思ひます に 器のく収拾に困つた事と思ひます

るはいろはろへ 古代七八九五 1426 488

90

3

-**900**

0

1

Ŧ

有邊は左當り自から適切な手段

福田正義 段

拶

評解

(制限時間各八時間)

では、 をでした。 までした。 ならば、外 の。れ五」から押へて隅に小さく の。 ならで、 なからで、 なからで、 なからで、 なかった。 ながった。 ながで、 ながで、 ながで、 ながで、 ながでで、 ながでで、 ながでで、 ながでで。 ながでで、 ながでで、 ながでで、 ながでで、 ながでで、 ながでで、 ながでで、 ながででで、 ながでで。 ながでで、 ながでで、 ながでで、 ながでで、 ながでで、 ながでで、 ながでで、 ながでで、 ながででで。

+

鮮支部設置決定

人原丁 等和

CF-#3

吉店

忠商

66.44

|の程幾重にも御願申上候

○日四人又は五十の手順に於て、 「わ十三」か『参十四』に追撃す べきは論を終たない ●黒四九では蹴つて『お六』にカ かるべきである

● 派は密いない。 ● 集四一にアビ切っか、動 カケッギを輝んだならば、旦三、 以下ことに策勝を立した事の不替 以下ことに策勝を立した事の不替 が現實に発露され、重い形と化し ただけに、白はその連想に個んだ。

音 秋 三 郡 即

三年文は『を十四』に攻撃を明始の自三天では腹で提案した『わ十

元元元 日 日 日 日

整工 共元

Ж

京期

大阪砂山

主元五四三三二集 | 入七元五回三三二章

#0. #0. #0. 10.

阪期米

世界 20 世界

72027202E

尊 哲

德

全

散

空間 一個二十個 四六中上図五〇〇四六中上図五〇〇 樹てられた驚くべき創作だ。

職進呈一

春

石川 湧譯 與平祥一著 (五版出來!!)

四六甲上鹽 三五〇頁 定國一國三十錢 恐科十四國

藤 太著 四百以上型 这定價 料價· 頁四十共刊夕朝

定個 一調八十錢 * 这料 四六版。六百十頁。政治年表附錄 十四级

現日等拾六回・世間経・明・平八拾九流現・依、小計園経・明・東日左記・世間経・明・大・三、一直を生く、一直を生く、一直を生く、一直を生く、一般に対していません。 (健康) は、一般に対していません。 (健康) は、 (健 商業登記公告

佐 電報的 全州地方法院 一 こ公告

一. 鱼多角品蛋 近行。明和给 行,就给自附置登录行题一旦。 粉孤园面的变质金卢斯给六。 世上 更世又

文人將軍・大谷少將の手によつて初めて世に出た

谷清麿著

頁百三校 日十二個 日十十科

社 發

山鎚正隆翮下摩文

「軍陣秘録!」之ぞ現下軍民必讀の大快著!

一四世末以行記し公中口一四世末以行記し公中口一記師登記は選回依り共ノ後明ヲ

新日本社 祭者人な ピル五階

商業登記公告

新經黃州出張的

か誰 つて 2:

五五五 かの 主天 および では、須らく我が城南隱士の卓見に俟つて の意向は?「重臣」 ブロックの宿命的なて の意向は?「重臣」 ブロックの宿命的ない 日本 の意向は?「重臣」 ブロックの宿命的ない 日本に於ける「政治の推進力」 たる軍部 べきである。 複雑にして微妙極まる政機

たか?し 著と云ふべきである!・強質早々大質行の大盛况 豫想を斷じて恒に的中せざるなきは、世の核心を衝き、而も大膽極まる将来への の定評あるところ、 正に現下國民必讀の

かし最を

我が城南陰士あり。 彼が言に傾聽して将來をトせ

拾版出來! 本書の素晴らしい賣行は何。 物の出版ではないことは立確される。頑頑時代から今日の大将介石を聴く忘の 興味趣きざる物がある。龍辺かの日周や百安年都勃毅、気に大歓打を能落なくされたことによつても本質が臨い系統々な姿を描き出した。支加本國はもとより、世界でも初めてにあらう福政があた旅介石傳化等は著名が、年齢を見て日本の文献は衰より、支那の凡ゆる正確な 記録を連進して将介付等は著名が、年齢を見て日本の文献は衰より、支那の凡ゆる正確な 記録を連進して将介付

日支の動向と世界の運 ト・ヘツセ著 华田弘平譯

山中峯太郎氏日く

初版忽ち賣切!

館 清 朗 定價 **一個五十**錢

作創

たスケールの雄大な驚くべき創作である。自画の一の年が世界顧复の夢を担一本書は創作である。 而も一代の奇傑 小日 向白 朗を主人公とし を喰はす新興文學だ。 第一部馬賊簫であって、第二部は動亂簫、第三部は理想篇、こ 小日向白朗の辿つた道である。作者の非凡な手腕はこの大きな題材を開願護熊取れは軈て滿洲大動亂の先驅をなし、その建國の黎明を齎した野人 んとうに大きい文學だ、藝術だ。 大問題がさし昇る太陽の光り な空味な叙述でなしに弥然とした個質としてくつきりと浮び出させる。 本篇は 三部作の **⋷れる。 當時朝野の一大問題であった、 疑問の日本人爲賊頭目、** いて、蝦占を終した時、国らずも馬賊に趙へられ楚許もなくその斑目に推されて覇魔の野を錠櫃 『陰陽する日本人の誰にも 最も奥味を以て 迎へられる馬賊の 生活が並に縁着物のやらに掻き出 |部によつて大亞細亞解放といふ日本人に與へられた宿命的| 生きた現實の快傑小川向自朗の數奇な生活 のやうに讀者の胸に輝いて來る。 からまれ、 フェーニング 教が主観の私文學に大きな鐵槌狭い主観の私文學に大きな鐵槌です。 「軍陣」を正面から眺めると、たい嚴めしいだけ「軍陣」を正面から眺めると、たい嚴めしいだけの額に見える。それを、側面から裏面から、「軍はゐられない。軍と國民は一元のものだ。この書材料をよくも集め得たものと敬服し、推薦せずにはゐられない。軍と國民は一元のものだ。この書が軍民一元の氣分を養ふに價値あるものとして大が軍民一元の氣分を養ふに價値あるものとして大いに讀まれることを期待する。

邦枝

完一著

邦枝完二代表作全集

內容見本進品

超十五國一國定 登四十 料金

役者)は傑作中の傑作である。 前回配本「歌贈をめぐる女達」

飛っ様な難行を示してゐる。

池

寬 著

全十巻元結。第二次命體配本中

內容見本進早

調開城支廳

一的"美安北人生" 天意地想整确企業行時和最高年 月登日總司總統一四世順統加亨 八拾九萬題也上等記

建

巡

銀五十九 国定 会 十 料途

士に組織を浴びてゐる。あらゆた日本の建築物語はあらゆる人大菊池の手によつて書き下され

派行文化。新指¹当高 新日本就版 ハイキングに

道省厳客課 古田圖輔著

敗ス易い粉末の見百日咳に

南部下には十一山田和九時九 外宮大前に即参入、即名代と「字前山田市造」様を自同妃 時四十五元諸城時系理の無に

して英四皇帝職成式に御参州外部大前に即参州、御名代と

班が行後校に成らせられて開ばされ、翌十三二歳下には明 本川部に入らせられ御一泊ば、中後四時島羽町御木

に関し続きを求め 「かまなるものは凝け感料関策産」題音と所で明和十二年度一般度算に関しの記される。

丁栗原社(資本金一段園、官殿牛 十九貫八千園のらも二百九十五萬

七十回である、なほ農株省投資節

行を後退される様なことが、五十萬国と、之に守る同姓と中心。対象は、一千八十一萬国と決定した。

ヴェ明を加へること人なったか、管の所割除域一新の國策権目に多 地方財政副皇文明金を始め各省所 入蔵出記遠郊實際領を決定したが

子二百四十一八周のらもから一干 | 秦起奥曾短無魔毀三十八月が全部

五百五十九英国を削減し二十六百

遞農兩省 景原語

閣の方針を踏襲

四月一日から

一分六厘四毛に

発漏間の民父趙整は不可能なる記述には刊渡しない方趾を取られば

強調したと既へられる。然し之

▲「人間が物を言ふといふとは

子供の やらに 問ふりに物が 丁省所管昭和十二年甚ら双端順四

つた外、削減される主なるものは

問題は理補助以九十萬国と中小百

の伊勢神宮に御参拝

年の見地から従来部閑に附され 「果小龍店」既村万面では無政

本が電話の政府は十二丁の屈膝 - 昭和十二年度一股所計蔵

農村方面の聲

以下は民多数の即出四へを受

東京電話「低景線相は十二二年

大勢に順應

り辞細なる説明を珍取し

の具体配修正要求を待ち、十三十

と瞬道便類低正の方針を明白にし

大野常局の希望に近き二十三百 作らため第三大柳赤散散の根壁に東京電船 海軍では陸軍と協調り、右二十三百萬國の縁起刺原を

間を次非度に促起べることにな 支端を與へざるやう、多少不便を

たが、之により権軍の十二年度一心んでも適宜機算施各項目より節

以する方針である

た變更はな

外地特別會計を通じて一千餘萬圓 即減繰延を要求し來る

「東京文社特電」
馬島原成から結城旅域となって半島東郊に如何なる影響を氏ぼすかは服界初め各方面在映

茶葉宮 平牛並館局事務官 内が外数官乗向書記官 宫域縣警然影長 山内 繼邦 祖淵陶縣總桥部長

の顧問技名を鑑道ホテルに指待し 新三十回となった説であつて、正年これが第十着手として越友帝 平剛なので、「似一千六皇三十正年これが第十着手として越友帝 干剛なので、「似一千六皇二十五萬を続けることになり、愈よ十三日 埋製来派は「似四千百二十五萬を続けることになり、愈よ十三日 埋製来派は「似四千百二十五萬

王剛なので、「像一王八旦三十二 人将校大佐一名大尉二名も開発し | 歴史末派は一般四千百二十五萬九 | 職死千三百名によった、フランス

除される分のうち最も独自される

三正帰経院部長・井田・完二|安原を行ふことになった

本テルに事務所を設け就更生連載。に決定したか、前内閣における第一後もドニョンに、 は、十日の發起人館に引航き線道。平内百九十三萬五十回を脱戦する。十一日の緩戦で政府軍は無数の は、十日の發起人館に引航き線道。平内百九十三萬五十回を脱戦する。十一日の緩戦で政府軍は無数の の進載に呼吸の確議なきに至つ

信者を出した、國際電影軍だけで

大調省「東京西西大」数日本の繁明のため記画し事態

河解應務回長 中野県岩田

政友の革新派が

長老顧問と會見

の増員、「宇宙の大きれるわけで、結局に於ては大した影響はないわけであるの増員、「宇宙のから、我の方針に對しては上するのなで解出後制度の中止、別位用上げ等が延期される、何を指の根本方針が決定したのであるから、我の方針に對しては上するの人で解出後制度の中止、別位用上げ等が延期される、何を制度によっている。 一般では、「一世での前漢語はをどの数目おら別様するかが問題であるが結局で入人 求してゐる、劉帥とては日大慶省と新聞中であるが、金麗原の中央衆金司を派するとしても六百朝鮮六百餘萬圓、台灣三百餘萬韻、株太南洋等 に就てもそれ相當の事を要外地特別會計を通じて一千餘萬與の節破繰延べを要求して 來てゐる、即ち 就では大した變更はない、 唯での前域鏡越をどの数目から削減するかが問題であるが結局役人能歯値であるが、目下折拇折衝中で蔑分か減額し得るものと思はれるから、十一 年度豫 算の實體に 陸軍協築的法督議判士を発了 三田縣終察部長 陸軍大臣 杉山 元 相京部所襲察部長 の物土を発せられた。

剛内閣案の儘提出

正して規則することは不可能であ、の職職とり右手間きにつき主献局(つた事に對し襲材・雙は収からず)は参切の残論はあつても異難的に正して規則することは不可能であ、の職職とり右手間きにつき主献局(つた事に對し襲材・雙は収からず)は参切の残論はあつても異難的に動して乱合により十二年度保証部形を修)に顕するため、之が法律上での他「供称理助放政十五高周が開始を奏」と非々も実に、外交職策に関してあるから、十五日の停留刊が確定し、において領面を関するとこなった「伝書したり」では、「ままり真」時の方式は興家本位の最正なる是 「緑色館の眺壁が耐に基ま、物域」にて質行不可能優勝を説明し實際、前内館の應行動解域の質地を管理、「展光電路」 卵和十二年度准算級」し、結果試用の糖感が動画館にお「ゐた應行」辨明生の施配として、 臧相の演説で實際豫算を明示

i 前 I 間の 環境系をそのまく提出

對議會策 十四日決定

果児電話」改友層は来る十四日

收入増額を發表

問記は約一英に強してみるが、こ

「原外に置」配主機相は十二日午

腕してゐる金融組合は金難約七百 ることになった。 毎に右脚就設正

というには、 がいに右側を取出、 若しこれが決定した場合はこれにことは、 他に右側を取出、 近了る事物にを 温度などして観によるのが、側は対手度子入百五十一時に提出して吸材の耐心を求める。

てこれを心臓することになった、

グリコ ブッロニ

イレテ

新邁遞相事務引繼

三九二

民政黨は斯く評す

急縮に配補監査修正衛に對し起数。呼か職を用始九日後に東方メレン【果泉進書】昭和十二年度實際良 / 革悪軍は八十八束マドリッド因

後型に徹起となってあるが座所は、されることとなった シャとの職職場の切録に成功月下

政黨の出方を見究め

於で近く試験を行つ

平常は民間に貸付

恒気機の改造だけに新 カル・ライン用とし

七多数買入れ

クラウド式

適当に考慮

政務官の存續問題

これはサイトをは、一方この機能しない以上、出して活躍せらめる一方この機能し、影響機とともに

して大いに期 航空の資金時

変となってゐるが、間内の大祭は「するもばにしいものである」と質 任要職員文有力化しつつあり、即一選の租幣版級なるものがあるから

仮退さす考へなし

杉山陸相の質問に對して

首相、歳相が。交々答ふ

本は、大学は大きなである。こと、お称と解となったので、歌情もこの歌舞を見合に 離んで 大学観視方面に関する。では、一般の関係にあって、かけいまったので、歌情もこの歌舞を見合に 離んでものまた、 物質語の動きもつで迎って人間を歌したるところ人間を 似して然る女性のに難成する方針とは、物質語の動きに関しては、地質語の動きに関しては、地質語の動きに関しては、地質語の動きに関しては、地質語の動きに関しては、地質語の動きに関しては、地質語の動きに関しては、地質語の動きを見られていた。 一本体 (地域・大学) は知って本語を駆化せしめるものの 関いたく (地域・大学) に対し、地域・大学 (地域・大学) に対し、 (地域・大学) (地域・大学) に対し、 (地域・大学) に対し、 (地域・大学) (地域・ に切扱けるためにはどうしても政 意との連絡を緊急ならしめる必要一名とするか既は一名とするかい

東京ない。 東京ないでは、 東京な

との主旨を交々答へ、電部側の歌

各省の豫算

削减内容

【サラマンカ十一日同盟】 スペイ

長の異動は十二日左の如く決定東京撤徙」敷佐以外の附記官、

重田 忠保

內保總理大臣東內務大臣政內接大臣政

改務委員督は役の三中全の環境に

類型 大算報告

常が英代版四郎氏を取締役前長

上兩十一日示星符項是對 观示

常置委員會を

めんと策動中であるが、関係山、 茶子文、千古己氏等一端は開闢山 奈宗に氏導る部局表面に立つを始 の遺伝なすり合ひの質様で最後的 せず、之がため且下各版間で提続

議

自治的に設置

ルンテム 前駅城京 トンテ西中 番八四八二本形 番六七〇二一城院替振

京城府部表面三二京城府部表面三二京城府第一●毎日朝十時より夕四時迄 4年日初十時より夕四時迄

畫映

アン諸君に

佛政府は冷靜

これを見越しては大阪な御徒です。

大側リッペントロップ氏と英外相 新型事) 總曾田 野理事) 同上 野理事) 一日 病は亢進して▲

通り総務官を政務大官と参県官の

最近封切

キング三月號に公開天下待望の三大世歌

暁の爆撃隊 ロIII Kuiii III II 「戦闘、大軍事映査、メトロ

問題等につき

た、今世の病鬼 へす、結 も出来 に話しいことを ミル、球懐した المالية المالية

新しさい

た修設官三週

?になった▲ は口中が腫れ 床に臥して仕

面白い人勢凝を絞る感些許物でれる最高部場面息直多数人り

ング

東

明

八

百

頁

の

大

册 テモ大評判・唐でお来の下さい

OF THE PARTY OF TH lb













り等職力需要の増加を裏話してゐ

國際スキー聯盟委員會に

のが代表から

聲明

マチュア問題を続つて

中

學 等

義 別後期各一年 回

學校程度

業

講 離

裘 一月

高等女學講義

年--年~ 华國

電氣工學豫備器

FISの反省要望

化監章を賜ふといふ有難を頼分が

配し、動機卓絶なるものに、文紀元の佳節に方り、文化の秘密

根本問題には研究續行か

企業金融會社の設立案

毎年乃至モれ以上の摩約によつて「するものである」 では、海車喇叭のは関大支は「骨凸型別割の一助」 のは、海車喇叭のは関大支は「骨凸型別割の一助」 のは、海車喇叭のは関大支は「骨凸型別割の一助」 のは、海車喇叭のは関大では「骨凸型別割の一助」 のは、海車喇叭のは関大では「砂砂」

「日本の希望は歌とするも一

のみと見られる

內國郵便為替 全點

の半額程度のものが縁延べられ

日期難種船頭出門

面の取立も順調に進んでゐる模様 孫世界の順調を辿り各地共農館方せられてるたが極産の回収振りは

般に監査的作の打撃を受けて要用的年の肥料資金の投出の回収は一

肥賽回收順調

重統法近~公布

發註統制

文化勳章

餽

事業株の肩替りは

面の人士に對する國家的表彰の方

した方面の文化が労者に對する動に限られ、文優家職所家某他所う

對する動策は、国更としてその方 野草を腸はることになってゐたの 趣んでもたものである。従来國家 田内閣時代にはその機態して、い らむへられてるたことであり、個 公布された。この儀は大分以前か

であるが、文化的方面の功能者に

皿に活動するところあった者のみ

多分に動込んだものとされてある 然し企業金が料とプロモーター

本府社會課の調査成る

1个八七

につき要認識を提出したが共の理定中等調理別問實施方に職する供配長に難し十日間を以て京城府内

「城西工館部所図頭は京城四気館

のことの現代を設け、朝鮮では委員會の規程を設け

夕刊後の市況

朝鮮陸上記錄集 公認陸上競技朝鮮記錄

資格は小學卒業の

よつて知られよ。 評細は内容見ぶに

题。 卷山—附多—邮户寄 94.

何人にてもよし。 覆書がさへあれば 商議から要望

割の昻騰率

は七年に比し一割方の品輪を見せ と連行した歩調を加し、十一年に

ど金融難に陥つてはゐないば此價に振り向ける主義をとつ

かに力を注ぐ

年オリンピック冬季大館の開省の一一日は十二日午後一時からシヤモ「鯨売製行の食定を整理し、十一「シヤモニ十二日同盟】 - 九四〇 | 殿を購る屋臨スキー職盟を破<equation-block>第一二、カジノ・ド・モンブランの

日覺めよ、若き女性

出した生物に送られて朝鮮教道のオモ

松原副總裁入城談

スプキルドからの思切なる動態に

の者も現るべきことは保護さら る質名の徒として単下し去るべ

ボーー日入城したが認る 一一日入城したが認る 一型の個所を滅じ即十六ケ所となつ 一型である、興銀の設立で中小面 上である、興銀の設立で中小面 上である、興銀の設立で中小面 上である、興銀の設立で中小面 上である。興銀の設立で中小面 上であるは、三個支店を新設する段 に、、然し三行車立時代に比して で中小面上金融票を設置して、 を門に中小立強に露せることに を門に中小立強に雷を記さるとに を門に中小立強に雷を設置して、 を門に中小立強に雷を設置して、 を門に中小立強に雷を設置して、 を門に中小立強に雷を設置して、 を門に中小立義に雷を表置して、 を門に中小立義に雷を表置して、 を門に中小立義に雷を表置して、 を門に中小立義に雷を表置して、 を門に中小立義に雷を表置して、 を門に中小立義に雷を表面とした。 要で少くも今年中は起債は行はてゐる。從つて資金は富分不必

三月頃より

弱體内閣でな 課税方針を變更するので配置結城氏か随相になつて金銭へ 金子理事談



田淵東治職業体長は東上中のとこ

整の弾と散つた肉頭三重士を生ん

れ行くであらう、整金後道廳を出 で地方法院を整課し、高等等通過 その領形量版盤の瞬間で建設な家郷がピッタリと來て気に入られた線がピッタリと來て気に入られた。 後永远に訓練所の聯盟を捌げられ の重ましく概然たる緊診、軍々大規則の厳鬱さは蓋く概だ、分別式 を擁つた。自力更生。の四字は今 る步武、何んと頼もしい姿ではな 五百の生徒等を設酷したが、その の朝鮮語対所年の脳鹿に深く図す

に置いては特に此の地方特官の婦 高等女型技に着いたのは午後一時 高晋生百九十一名に四へられ器室



いとも頼るしき軍教規律

程だ、總督も僅か百米位の場に遊

事と二人で《月桂冠》を傾けなが

月中の水産品の移出は次の通り

増加して減つたのは魚油だけであ

見れは必ず望みの講義録を 申込所 早稻田大學出版部

書いてハガキで申込むこと

電話牛込三四五

を 中 (金口) 開日を上し

元山大野」 原雄代理店 朝着5 海雄代理店 副豪武翰支 五八理店 副豪武翰支 五八理店

電氣工學講義一年中

築 塵

義 菱

一月一日 世 会

專門學校程度

んさ榮牧川淺

る、染色といび刺繍といび、婦人刺繍一を用品して低非人選してる の手趣にはありふれたものなが

枚添さんの組合一段とすぐれ

苦心は獨創の圖案

たずに「観音な」を呼吸に出品し

「見事人選、その求からは『日本

文様に劣られ

藝術

女を卒へられ家で、第一高

父も

母も、妹も

16川伯敦氏の長女牧堂さんも所護権の削作家として知られてゐ

地土機断の研究家として、交通

牧祭さんは誰るー

リードには一年的ニューコー

ニューヨーケ市に赴き必数の脚梁

ク神紀型前の有力音道の時間で、

重んだ特情の子供を確単

を案出し、其から敷遺後には、手

供望に悩むとなしい概良な生徒に

郷正法を考へ出すに至ったのだと に考、及ひ、これが動機となって を機件者に過ぎないのだと言ふ歴

脚を 身心を疑め休ませる方法を敬へる

方法は極めて陥留で、唯子供達に

行かない。併し、之を置ける中に すものではなく、從つて子供達が

質の験 なして見せた、其

、人をいちめたりす

子供道とても決して好んで能能な

兩・手 は地面なで聴の

・椅子が安緑帽子に

れた。常に無人のやうなどであ

りますので、それをつって一一一数五年の染色に『観音楽』が ですが、私は何端の方が好き

んはアランスの宗匠で妹さ



々な意味にとられてるますが、 ●…そもそも、スウキンガとは観 のやらに・・・・

解說問

言ひませらかりそう言つた影響派 う、日本の皆標には嬉しい原内で 柔く、しかも上類した群ひとでも ズムとメロデーの除職、のでうに

が安全だったと思は

学生師の美しさに持つて東たとこ B 「此意字」 れるが知

まひ相な程所制この若い方々に理

米フリード氏の發案 に行ぎ宣つて行くのが判つたら下沸へ 脚から足へと、大 眼やなっちて見せ、大 題にようつかった時には此の方法 で支への卸は深の所で組み合せて支への卸はに関す、野は頃くにまかせ頭はた、明む、野は頃くにまかせ頭はたいて祈子の腕木に載せる。駅はいて祈子の腕木に載せる。駅はいて祈子の腕木に載せる。 を以て、問題に突き並んで行くと を落着ける単が出来、又困難な問 正つて唇を時でも、之を行つて心 けてゐるだけで、目に見えて休息 完全に聞え込んだので、演壇に 取れる。フリード氏は此の方法 たつた三十秒からした姿態を関 ず氏は次の如く述べて居一起るものなのだから 出来ない。何故なら思りと言ふも のは、神経が係りに緊張し過きて 人間には恐るなんで事は絶對に る。完全に身心を引起させた

悪戯ツ子の矯正法

身心を休ませる實験

出來るかどう

か、試すも一法!?

立た情報を記られ、石工は関連を与なな で向える情報は整

風

では、「十里) 野本年 | 楽並巻

つはりを納めるのです。

ンチ切抜けは も危険な問題は際思 共通の話題を作る 怠期 0

心ので何年級つても密は依然を取 うることなく過ぎて終ふことが経 光づ緒短漢言年日か最も危険な である、男性な化物のほぐカフ の結果とい

埋ることがないといふで

利當幸権強いものご

下以

の喰ひ越ひが生じて求る

要加一反半、細は十四枚入 標準夜具座布團

・ ととして中人十人語はされるので、中には蛇蛇につき物の棚に歴 つて、鯉く昆である人がらり、

近くなると悪語が至く寝へる

るめた、呼吸が上

四尺八寸上りで波地一反 夜岩は、袖丈一尺五寸、

特に姓振中に罹る

見られてゐますが、實際一般に極めて寒然たる層

所築によつて旭

はりは其の著しいもので、

措が副は、校分派布けれ

新中、俄かに接触することも多い り治つてゐたと思ふ聞な結疾が きただしい以前に脱つて、すつ

が死亡事を増してゐる部一

に振り、虱征に陥っ、虱征に陥っ、水が一様は一寸の

れを二枚組むるのがきた

いものである。外國にゴルッウ 襲としてはなるべく良人の趣

一當 流代



闘器は自分がや

ます、既は花型の如く、既は羽毛 駅ろロールと言いたい め大主かな素味のあるカール

の恩思を受り見ます。







親は胃腸病輕快

なる

がでする **施**吉

は新報にて「健康わかもと」の **小生三年前まで慢性管験落に** 丁は風邪をひかなく

志 塚

場がしましたところ、照次検方が、いろ/〜の部が来あることを知り、直ちに服 その他を服用させ 設定して「設備わかもと」

で来ました。一般の健 他の引き方も少く、體 しきすが、以前に比較 た。非常に対ん 年間より引置き だ記録し、肝臓が治にず生)は るのも間近き でで出りました

事になるのです。また、動物質級 風に関づてもすぐ感管に犯される てに流力が弱くなり、一寸冷たい 生物 関州「鮭棚わかもと」 | DもEもといふ風に、各種に亘つ 處が此のピタミンを、人も目も黙も特に主意せねばなりません。 帰くなるのも事質ですから、この 節で説明される通りビタミンDが 鮑ラ子と記録に罹り易く、同じ ・んやりが不足すると、避組織が

強め、食物の消化吸収をよくするがありますが、之には火、胃豚を 和を改ぶるペーフエ語中、よつ をとした効果に否異なしとでこ れらの類似語を加める要店もあ りきすが。範別のかもとは数百 りますが。配別のかもとは数百 のもとしている。 事で、発行が十分でないと脳波の かられてむります。 おいみにかいだへても背づける 愛見のある関系庭に常備して重調

所谓も思く、金身の機能が異微し

田門出勿の強い子が特に犯さ 歌声して行くことが出来るので、 抵抗力の流電とない

云つても整弦の増進が第一であり。技などにも容易に犯されれ機な

ます。之は除病質な

「東京大阪の指導の總額」の希質で、その手数としては何と て原間どころか、大帝に航援、結
支カタル等をひつく 整質の破ぎ、補間に對する抵抗力 から、腔間に起され続い維質・ 艦爾に備へた所見法の要請は、一貫と、明日織の帰世化が踊られる



する新生物製劑

ろだが日本ならさしづめ釣ウイ

孤媚)のやうな生活だといふと

が、小川のほとりに的彩をたれる 世にも和やかにうるはしい意見で 良人の傍で餌の世話をする場など

動好きの良人も、奥さんには形あらうではないか

所人に継続産婦の死亡であります死亡者六十萬人の中、約一割の六親國に於ける、一年間の婦人全

夥しい死亡率には

の性域目の季節

の無岸切、共心の貧重繁養養を細ツ、脂肪、低白質、カバンウム等

TO THE REAL PROPERTY OF THE PARTY OF THE PAR

己|帯氏は砂段十六年以上に及んだの 紀元和の住屋に永年動置者と

り府主催の式具は午前十一時から

合分館は何井城合分館長の貨庫の完了、午後五時散館した、今後駅

りことに目出たく説明式の一切を

異常な關心を呼ぶ

一日の紀元節に川では、何例によ一初めとし各職工場の進出を除

住き日をトし公會堂で擧行

非常時克服に邁進

の發會式

都は散剤のなかに暮れて行つた

が記述世間工業用独田の許可に網

●場合分會長・向井最一▲副長一時歌殿に福鑑することになった。

水登浦 △舉行

もとに一糸気れい行動をとり非常

【波山 坡州郡では北江郡をトし

坡州で傳達式

【永鷺浦】「須軍永穹浦」戦合分階の一家出しその後月底になつこ

分會發會式を舉ぐ

女理髮師謎

同社島田氏ら一行の調査 (賞金十五國)都尺面町配差の通り郡守から老修した び個人として紀元の世命を小 【医州】 那四世村街通功等解實

盛大な發會式擧行

の儀表として

の研修大阪間で左の旅きで、第7 【4川】 府では十一日午前十時か

日本マグ

ネシ

優良店員

仁川で表彰

功績と篤行とを表彰さる

住き日に

| 一大一日八十銭駅落であるから結| 気磁合二种微、縦戦| 仕板巡標を けでも進い。 | 「日本・金田では、一大一日八十銭駅落であるから結| なほ 同辨師 この間に大陸九ケ町の際を設け | 白米・を | 「日本・金田では | 日本・金田では | 日本・田では | 日本・金田では | 日本・田では | 日本・田 一人一日八十銭見當であるから結 | なほ 同線竣工の鳴は 全線三十七 | なる模様である 十二月一日には全線開通 バラ撒かれる黄金四十萬圓 「富書」衛車級級防運を明年に一人人であらゆる機関を総勢以して 南工館職所ではこれが促血過、彼のられてゐるがその部級は大器の人の名衆推議時に職し所認、就、商工館職所埋募の手?若々形裁が一番しく立ち離れのかたさとな、の設調に着手することとなり信用 蜿蜒二千五百米の岸壁築造 十五隻を 開港地となる

水に関する耐念も関準な極升を水に関する関連は一年、次は流気料し得るものとする、なほ流気料し得るものとする。なほ流気料し得るものとする。なほ流気料し得るものとする。なほ流気料し得るものとする。

もので過度来南の大村御歌副部 いつた治療としての完整を期す

水原】本社支局主催第一回中野 中鮮園碁大會

とり、関係の監測を贈かせたが役割させると共にお茶の、原音を受け ある家庭十八曜に二、三百宛 領事業を政制に譲つて立つ、き間、長の開式の職、関長立野市五の間、関大立野間大を開行、松江 造門同業者十六名を打つて一丸と、頭、併職業業務長、組牌は報酬を期し、かねて報路を組る目的で「守(代達)機勢消長、安東國門 紀元前の佳辰をトレ午後二時二十一別胜き原装を扱り真誠三唱後間四 は没草のりをしのぐものがあるしは没草のりをつくつてある、黄茂道ののりをつくつてある、黄茂道のりをつくつてある、黄茂道のりをつくつてある、黄茂道ののりをつくつである。 永同」沃川那既務保ではこの程 哲学 警戒上首尾 沃川の車輛檢査 忠北土建協會

照州】本社支局では原州履遺体 驪州 擲 個大會 いの後数で明十四十年期十時 言語で第一回新春棚的大台 になった、

三千を陳出し 一戸営り氏は野成木に潜り精婆上



思よ今月末る

出一丁目

上げで創用が下さい

んぞう病 ぼうこう炎 の病と性病

したことは既親の通りであるが都一般は大いに数ひ代表者が六日都曾ついて面内公職者が都営局に段情。新説の計畫があるとを知つた同面

尿道炎 淋疾 消渴 寢小仅

大変観のでいます。 は、できるが、は、できるが、は、できるが、は、できるが、は、できるが、は、できるが、は、できるが、は、できるが、は、できるが、は、できるが、は、できるが、できるが、できるが、できるが、できない。 できない は、できないできない。 といる は、できないが、は、できないが、できない。 といる は、できないが、は、できないが、できない。 といる は、できない。 といる は、できないが、できない。 といる は、できないが、できない。 といる は、できないが、できない。 といる は、できない。 といる は、できないが、できない。 といる は、できないが、できない。 といる は、できないが、できない。 といる は、できないが、できるが、だいの は、できないが、できるが、だいの は、できないが、できるが、だいの は、できないが、できるが、だいる は、できないが、できるが、だいないが、できるが、できるが、だいないが、できるが、だいないが、できるが、だいないが、できるが、だいないが、できるが、だいないが、できないが、できるが、だいないが、できるが、だいないが、できないが、できるが、だいないが、できるが、だいないが、できない

三念 造

증

肺患征服に名高 -----寺傳の秘法-----\$

得

まちがつた治療が表したの人生を失ふ肺患者へ、罪なの 食室 四大和合の正しい肺患者の原理してき情秘法 光明のあなたへ」の二冊の本を進呈します。

単くこの寺から里への弘願をうけて肺患で見た本下さい。前記二冊の本を無料送呈しますでいる。前記二冊の本を無料送呈しますでいる。

を征服されよ。 功德山 河內國小阪町

子なき奥様に明明明

い贈も



本劑

0)

贩

賣

17

就

7

は

郁

Þ

格別

なる

御引

1/

12

預

りま

く厚く御

醴

H

上げます。

扨て

御

知

0

Ú

り本

剤は

御愛用者大優待

の計畫につき

計 優待 畫 發

弊舗は保健衛生思想の發達に作 します。 御愛用者大優待の計畵を發表致 各位の御協力を得て下記の通り 仕り度茲に一大犠牲を忍び藥店 を痛威致し一 ひ愈々本劑の一 何卒一 層之が普及に努力 般的に必要なる 層の 御 援助 を

御願ひ申上ます

御愛用者大優特新聞廣告は三月一日と至急御問合せ下さい

より掲載致します

は御取引先へ

送

b 致

> ま 古

朋

ます事は偏に藥店各位の御推擧に依る事と感謝に堪へません。

の懐中護身薬として保健衛生家の御愛用日一日と増加して居り

「口より入る病を防ぎ精神を爽快にする」薬効を有する本邦唯一

憂 待

カ大トル二十銭以上御買 まい添うのオリデナル香水紙 (軽 者へ洩れなく 早 主題を 求めの御愛用 ま

更に御愛用者はカストル 翻木リデナル香水大瓶 當籤の方へ直接 店へお賴みになれば取集 て嚴正抽籤し二十枚に一 へ住所氏名を明記して (定順)を 本の割合にて来めの上本舗にの対して御買求めの薬

宫天水區橋本日市京東

十二の七

山周廻道路で

たので五盛の消磨自動車、五十人物の雇風にあふられ代の手が上つ

語の野橙の柳の山から出穴、匠

日午後七時廿分ごろ京城元町

さするため取使の間に提火を出一般で開送され木実物事の論告表版と門前で飲みチョンガリ節を称し、門前で歌ぶチョンガリ節を称し、窓で開送され木実物事の論告表版と

に関する公判は十二十年前十時名から紡績、国産建造物保存法庭反

宣昌岛数判所被**涉**判事、木宝校事

後四時から第一瞥離岩に於て山根

にこのワシは一生を磁なしにし C「お町さんの一生を私が知る

町金融分析業根本前へ。同時代

正臓プローカー水極芳瞳("ごにか

京城西丁寶藤町では水の十六日年

十六日舉行

後一世代組して左の如く判決言語。組織する昭和會の君差國郡大會第二世紀記述才書籍書の監告才計「国」若大・會本所報員をリ

たが火の中に人のうめき繋が阻え の消防手、祖山署成などかけつけ

外金剛より雪便り頻り、本社はこ」にスキーヤ の要望に應って定員五十名の同好團體を募集、 勝金剛を背景にした壯大な雪線に娱しみのシュ

絕

馬だが人は忠同供郡李聖末こ …… 手を叩いておんだのは強い む、 雑る、 明ふ ぬかるみの中で AとBとじは瞬

一百萬圓轉け込む

一圓の山林が既に十二圓

| 本限に右桁有地の一関四十馬炉を | 荷米地下げるとしてこれが肥用の | 関係なの態度を見せてゐる | 四五年後には後に坪州國を終へら | 山崎総道器ので帯域八十八馬屋と 下げ方を申し込まれたが、傾重に坪十二国五十銭の呼値となり今後 賞牧玉をはおいてゐる。これで暦 | あり、先塔朝登戦宅用地として勝

に守れ地質は脳天島宮し今日では、欧京は生めると経営局は懐京胎の「英國の利益があるとホター~臓でとなつてあるが、殿巡道路の着工。」続い下げるとしても十二百萬國の「四百萬國を引き出つても七百十二

ので数ひ出すと、全身火達磨と

ルを描くことになりましたお申込は十三日(土)

會 費 一般五圓、學 生 四 圓

関と歩く歩の数を見付ての始まいカフェー主金関急(*も)とサン 中、びとつこり和宮町で雇主 けた製手協議へしを担して歩く で去る一月八日自分を捨てく地

がキング三月號で、大統領の下りの間距の三月の間で、大統領の

尿日ズキーの會

映置「新しき土目院の課題

快!『民衆の太陽』を理想に **尿畿道當局乗り出す**

ことにも住みよい京城たらしめようとドエライ為「真公女でその呪術に取りかくつた、完成されに相思しい。成治師能為としての釈義。を寂寞所の頭に吹き込み、戦士養経版を発成して即和犯に心から観別な養紀版であつて欲しいといる民間の器に明じて京都道解皮跡では文化師市京 なくてはならないと思ふ、 過名 が表質な代数である。その時 組 た変質の代数である。その時 組 た変質の代数である。その時 組 た変質の代数である。その時 組 をの人によつて或る時は優しく いである。その時 組 なっているのもな



彈二勇

底し好成績をあげてある 朝鮮人間には納度義務の概念が散 島の九削六分を凌縮してゐる特に 織を示し内地の先進和市福岡、四 微集器間目六十萬のうち納入ずみ は百五十六萬風で九湖八分の好成 京城府の十一年度府松微集成館は

屋市主催孔太平洋牛利炒、高川市 は三月から五月まで開かれる名古

高上 西鄉全通記 南南十四四

税關吏の服装

立派になる

金優野衛内で第二幡自然中の小嶽一出できずその上調れぬ仕事での哲北線第一列車は午前十時十分ごろ」は皇帝なりで丁基からは一歩も外 分古八山へ向つた朝鮮越遊館作成。来たものであるが契約の時の約束【一出電話】十二月年前八時四 - 阿人等は単年末梁山から離はれて 定である

外國向小郎デオラマを原作する部(で近く決定を見る部である。これ)で、本所に弥譲ではこれが成正野へ直、資質勝を開始することになり(げてれた)に交渉を逝めてあるの。韓、為政策と翻脱を定めてゐるの

であるデオラマは金剛山、牡丹台」は単作の性質上不設されぬことに

領を立窓し、このほど経験部に述

約束が違ふ

なるものと見られる 削したので近く質脆されることと

客車脫線

明鐵成北線で

進めてゐるが、今年から散光各國一物士についても数名の饒福者をあしてゐたが、蘇科島では既に正、

むらご・1 天鵬線の現京市法館誌 その優無信服一本で劇版にも代別できたが少である。 延齢令の適用さ 十年六月制定されて以来今日までられるが、悲鶥を厭餓は早くとも三月上前以後とな ばたられが、悲鶥を厭餓してに

除幕式は五月中旬 瞬前に建設か

を出版することになった

保険企詐欺を企

外交員と僧侶ら三名が共謀

回溯宣大は十三十月後の高曹朝道大管。第一高曹の

関節、海家音等の温泉ギオ

らず人気のある個し物になると

てする験官もあり女民祭の間にも ことがあつたらどし 一倉局に申 し出て貰ひ大いに民衆の騒を聴か

保安課の話

民衆と登録はもつと(一巻近し)となつた杭村中将の荒庵軍作を載。以て間大将を巡時沿場とし、

は杉山大将の陸相配出により総設。所け中に上窓岬が可を経て登録を真系を具て総令を公布したがこれ、林州之氏でつの内閣を得たので

を認明者別し得るでう去る十日の十二日に当り高くな情後陸軍大将 |判士として技術技術後にある時間、適用するとになり動物中のところ版社として技術技術後にある時間、適用するとになり動物中のところで、「東京市語)陸単では単独教師の「大部門部の「東京市部の関係」という。 ろの

の民衆と監察

の質量一つ

ころ春のやうな日曜日の午後で一つてゐて不動切な語いものだとい

発音類の徹底を計らばめ出つり言 - 現る力技付切らないので発用く、せる「こら」では、などい・高級行業シーベンを強くて興ニ深く、な言葉に厳悲される。 つてゐて不親切な恐いものだとい

コラや貴様 日一善も奨勵する 語して標度ある個に警察官の全面

らといふ趣向で民衆に思惑を抱か

殿禁される

を急き例を兵隊さんの職につくこところ、奴人らせたいと心配して なつたので開始者は建設地の決定一下上率長の妹しもさんをも適質な一の母を戦の下に寄せてあるうも敢 とを係他に他山崎的に設置しよう一ある 市別城へ輸送されることに「世話してゐる三頭出の一人、故证」

男氏が東京で総配さめて製作中で「正正師雄四部氏はが任何氏の家で」金岐戦闘戦で懸撃手當の結果生命の結果を耐いる東京での副衆に目下月銀華「月十日の統大に行ぶ東走で、同時「空間中を家人が総定、直に戦害所の 泉城に計画り土肥価四郎氏記載の「士の後続な配野に挟んで標」や5九塚のて生みの個グをついけてゐた「除難就は別行戦の花と設つた三別

角地から逆江畔へと建設整地を | と鉄道局と揺倒をつづけてある、

炎姓女(★)が荷作門選を麾下して は取止めるらしい、頼りない差後

出を作り契約を改立させ、第一回 岩石が結底で拡張に陥つてゐるの 仲間の推議選を費玉として診師 が、場面元川里沿地寺の竹川寺

大將に内定

公判は早くて三月上旬以後

市法の議場的長に任命観光すると

急ぐ誤であるが何分にもだ大なる一珍歌時の階師と死に診断許の財師

類の問題をなし公利用始の準備を になつた、この結果同大將は新に

でりなほす植村中将公牧の

|竹選||で同人等は契約金六千回の支腕を

開作間に迫つたが同時性では加入 日表忠寺の衝撃は途に死亡したの

記録と当他が順るデリケートな法 が遠ふのに不能を抱き支機をはつ

御問題であるだけに閉鎖終了まで

てるたところ所は者か石の事質を

計昭和町中二ノ二四前科二和佐々アッと含はせた任盛、大阪市田吉

小町一(Fo)及び金融の議論し四日 役別つた同市廃區大野寺中之

【名古島電話】名古島城命観の鱗

十四水師芳興 像)開選三四國根不和金統

模範商工從業 員表彰式

名古屋區裁判所判決

火中に聲あり

乞食火達磨

合つて飛込み心中を命て男は右足同列車の直側に朝鮮人男女が抱き 物列中が開城度最踏切を通過の際

たと知り行方を晦ましたので目下。東切をらけ兩人共開城道立病院で

氣象特報

神ら 特徴し

おれを召 的方面日 くとかったるまの 到 1/1

ふんだ、この野郎!

募集

本校三照會スペシ

電

小 店。 只是总人们但内地人 京城的本则一丁目 京城的本则一丁目

特別室贝

付いくあいまあをさる (中部) 中部 (中部) 中的 (中部) 中的 (中部) 中的 (中的) 中的 (○社員募集



鐵道局で小型デオラマを製作 博覽會その他にどしく一出品

五時ごろ別村四個点城前監町三八四甲内の抵摸・十二十後 るべき雷の正月も無一物では淋し

ガッチリせる品質

整賞と正確の二條件

名では現場へ出張し展出、推定等一を起し東西町町の電車度留所で電

質の高最

學 筆 事 製 生 記 務 闘 用 用 用 用

を水上警戒を任しみ取割へると物。では熊重司後の耶伽を副立中の東大学女人では熊原してあるの。を織てたものと観引した、水上製造の「地震」の歌之。リ順を狙つて継近山が一段時間を立て、水上製造の歌之。リ順を狙つて継近山が一段時間を開発した。 燐寸女工脱走す 田舎田の少女六名

に御往窓

| 禁己亲内

設備 お湯の温松 眺め 海雲台溫泉

(釜山郊外) 市高 الل

本力大使編編 洋 裁 生徒祭巢部战科建阔 及和使用《治 詳細は本語と開 會為れ(原特殊) 京城崎本町三 町月之二番地 京城崎本町三

馬島縣 新庄中學校 第一學校

多外

を検理した、正標度は犯罪業職し一を切録し生命危馬女は頭部共和

際せい處で悪計暴露

発に手配し級重要中

夫婦心中 生 ろ加川行政路切りて 十二寸午前一時

生徒、試驗

女中 人用小人表演のこと 京城街里大門画り 電流 (東西) とう 音楽 「京城街里大門画り 電流 (東西) とう 音楽 「京城街里大門画り 第一次四川 とう 音楽 (東西) とう (東西) と

利」 自物小二台格安健る では、「大学」 (オース・チン中古) 「大学」 館 館 で 丸 一館 館

けるの天気

構造堅牢

强力・カンフル 新誘導体

同九時三〇分(東)時段 ニュー ない東京道像・地方へのニュー ない。 ※・芸様園) メーエニ

が開催の称華(経)では、一般には、

朝の終済 基礎佛而講座 Ħ

時一分(東) 放 波(土)

工三日

同

0

業婦介所長 響楽婦人の現況及傾向」 はる娘さんのために(同二時(東)母の時間

曀 (東)衛曲 (東)衛曲 R

RIKEN CAMPHENAL 10 (od. B) Apocampher-1-aldehyd

(日英米獨佛發明特許

Wirksames Campher-präparat

gegen Herzschwäche und Dyspnoe

財團法人理化學研究所 鈴木梅太郎博

土研究室に於て研究創鑿せられたる「理

研 カンフェナール」は既知のカンフル 誘

顰體たるオルト バラ バイ等のオキシ カンフェル類より誘導せるクトン 或は

理研カンフェナールは血行機能障碍呼

吸障碍ある患者に 皮下若くは静脈内よ

り作用して脈搏頻数にして小且つ緊張微 弱なるものゝ脈搏数を減少せしめ 脈搏

を大となし緊張を増加し 他方呼吸困難

を去り呼吸数を凝る呼吸を深大ならしむ る作用を發現す 又心臓衰弱その他脚氣

臨床實驗報告

たしあばは天うう熱吉 こあめいる。よす ことりかび最らり河林 まるかる人。るみ *るかるん **るか 丸丸丸丸丸丸丸丸丸丸丸

三 元七二三九三二元神早神 日日日日日日日日日日日 朝戶

(10 (od. 8) -Oxocampher)

CH2-C-CH1

アルデヒード類と異り 作用初期に抑制

作用を伴はす 然も既知誘導體中頗る景 力なる媼心作用を有する誇るべき優秀品

結核等にて低血壓症狀を呈するものには

多くの場合血壓を上昇せしめるが高血壓 症狀を呈する場合には更に上昇性には作

用しないのみならず癖ろ血腰を下降し患

者は頭部重壓の感が鬱滅することを自覚

にして下記の特長を有す

(1) 心臓そのものに强心薬として働き且つ呼吸中枢 血管中枢

(2) 臨床實驗の結果は何等の副作用なく良く 脳心呼吸興奮作用 を迅速に發現し 殊に淺薄なる呼吸を深大に增强する作用

③ 化學的純合成品なる上 酸化を防止せるを以て其內容及び 効果は常に一定不變にして異性頗る翳く價格亦低籐なり

にも働き作用初期に抑制作用を伴はず

は本剤の最も誇るべき點なり

-CH--CH;

やうな気持ちだつ

確深い間の中へおんで行く

知恩院忘れ傘の巻

匠左甚五郎

京師へ来上途中、伏見一番の棟梁 體何のお話なの 、もゆうびん!~

第一夜

日

城

皿を均等に視る総合考査法を實施 減险、口頭試問、身度秘査の三方

一張しさはまづしきにあり掘の花

兒

0

お話

京

お手紙

大阪商船駐出帆

オハナシクラブ ねずみのおうた

ゆうびん、ゆうびん、どこ

ねずみのお家へ

^施 极 登 記 公 告

天朝明日 海海石海 丸丸丸丸

口

會

朝鮮郵船定期出帆

代海海石市 代理丸丸丸丸

美朝明日

五 天 朝 明 石 海 海 丸 丸 丸 丸

(八)

も、老いた母親の間には敗北して一番い日の生活への警急も、冒険

このであげた品技は、配のやらに つきまで、配子は樹本さんに狙つ

> 単胞のやうな質がするのだつ の人の手に引渡すのが、一

一种鸭

親の悲しみ

あたのに、それが、こちらへ向つ て戦いてるものと信じて安心して さんは、

をお約束します。 がひないのですから

ですわ。快価ですわ。不幸なこと どうしたつて、お家にお疑りにな ることはないと住じますの。 お宅にお願けします。それでします。 説いて、彼女に我家に聞る意志を いのだ。概本にたのんで、超子を だを裏引さやうで、最校に出来なころをこゝで云つてしまふのは、

義太夫

名版語をする単になってゐる 大夫の門人で美麗語、今度八代 日を鳴呂の語で、三月興行に襲 日を鳴呂の語で、三月興行に襲 辨慶上使の段

家庭講座

受験児童の御家庭

藤好

香香

吸 東 附至神成江 京 鉛海行銀原 石

(日曜土)

ろめたいところがある。魔士の行一でもあらうと、最枝は考へ、泗然

御所櫻堀川夜討 ・ 名で、三月興行に腹 する事になつてゐる 一 で文二年:

木油出帆 山出帆 天 海 丸 朝 本 海 丸

田凯 代理 天 海 丸

新山田郡

代理店

二月十七日

Ī

| | | |

と数へてお言 目邊には白 まで行かず い黒いの ó 四



定價十五銭 薬店ニアリ 煙草化粧品

文献は代理店より贈呈す

適 鷹 症 急性心臓衰弱,一般心臟疾患,血行障碍,浮腫,急性虚脱狀態 呼吸困難,諸種中毒,急性傳染病,小兒疫期 客 量 1.0∞ (5管入 10管入 50管入) 2.0∞ (5管入 10管入 50管入)

製造元 財團法人 理化學 研究所 代理店

株式會社 藤澤 友 吉 商 店 東京日本橋區本町

代理店 株式會社 田邊元三郎商店

RC3